

第3学年 社会科学学習指導案

授業者 仙台市立沖野小学校
教諭 岡崎 大地

1 小単元名 火事からくらしを守る

2 小単元の目標

施設や設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめ、関係機関や地域の人々の諸活動をとらえ相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや関係機関が地域の人々と協力して火災などの防止に努めていることを理解できるようにする。

3 小単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| <p>緊急時に対処する体制や火災の防止、関係機関や地域の人々の協力などについて見学・調査したり地図などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地域の安全を守るための関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。</p> <p>調べたことを図や文などにまとめ、火事からくらしを守る人々のはたらきや役割について理解している。</p> | <p>施設や設備などの配置、緊急時の備えや対応などに着目して、問いを見だし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。</p> <p>施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などを相互に関連づけて、関係機関や地域の人々の諸活動を考え、さらに相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現している。</p> | <p>火災から地域の安全を守る活動について、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。</p> <p>学習したことを基に火災予防の活動など、地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えようとしている。</p> |

4 小単元について

- 本単元は、学習指導要領・内容（3）ア、イにあたり、地域の安全を守る働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解できるようにする。また、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを身に付けることができる単元である。
 - 本学級は、男子12名、女子17名、計29名である。社会科の学習では、「身近な地域や市の様子」の学習の際に、地図や写真から様々な情報を読み取り、自分なりに考えたことや見つけたこと等を意欲的にノートに書いたり、発言したりする姿が見られた。一方で、地図や写真を見るときに観点を示しているものの地図や写真から情報を読み取ったり、考えたりすることができずにいる児童も見られた。
 - 本小単元の指導にあたっては、まず「つかむ」段階で、イラストなどから、火事が起きたときに消防署で働く人だけではなく、病院や警察など様々な人々が関わっていることに気付かせる。また、資料やデータなどから、火災発生時の体制や火災を防止する工夫があることに気付かせ、学習に対する興味・関心を高めた上で学習問題を設定し、学習計画を立てたい。
- 次に、「調べる」段階では、学習計画を基に資料などから情報を読み取ったり、必要な情報を集めたりしながら学習課題について調べられるようにする。提示する資料を精選することで、児童が学習課題を解決するために必要な情報を自分の力で読み取れるようにしたい。また、情報を児童同士で共有したり、調べたことを基に話し合ったりと「学び合い」を通して互いの考えを深め、広げられるようにしたい。
- そして、「まとめる」段階では、学習問題を振り返って、調べたことや分かったこと、また、自分の学習状況を振り返って考えたことを関係図にまとめることで自らの学びを見つめ直すようにする。
- 最後に、「生かす」段階では、「火事からくらしを守るためにわたしたちができること」を考えることを通して、地域社会の一員としての自覚をもたせるようにしたい。

5 小単元構想図（視点との関わり）

小単元名「火事からくらしを守る」

目標 施設や設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめ、関係機関や地域の人々の諸活動をとらえ相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災などの防止に努めていることを理解できるようにする。

主体的・対話的で深い学び

| | 視点1【問いの構成】 | 視点2【学び合い】 | 視点3【★振り返り】 |
|------|---|--|--|
| つかむ | 「問題を発見する」ための問い ①イラストやグラフを見て、気づいたことを話し合い、学習問題をつくりましょう。 ②学習問題について予想し、学習計画を立てよう。 | 学 火事が起きたときの取り組みについて考える話し合い | ★火事が起きたときの取り組みについて、どんなことを知っているのか |
| | 学習問題 火事が起きたときや火事をふせぐために、どのような人々が、どのようなはたらきをしているのでしょうか。 | | |
| 調べ | 予想1→③へ 「緊急時①」 | 予想2→④へ 「防止」 | 予想3→⑤へ 「緊急時②」 |
| | 予想4→⑥へ 「消防施設」 | 予想5→⑦へ 「地域の取り組み」 | |
| | 「調べて、知る」ための問い ③消防署の人たちは、火事が起きたときのため、どのような取り組みをしているのでしょうか。 ④消防署の人たちは、火事を防ぐため、どのような取り組みをしているのでしょうか。 ⑤119番に電話をかけると、どこにつながり、どこへ連絡が行くのでしょうか。 ⑥わたしたちのまわりには、どこに、どのような消防施設があるのでしょうか。 ⑦火事が起きたときや、火事をふせぐために、地域では、どのような取り組みが行われているのでしょうか。 | 学 緊急時への対応について考える話し合い | |
| まとめる | 「考えて、分かる」ための問い ⑧関係図をつくり、火事からくらしを守る人々のはたらきについてまとめましょう。 | 学 火事からくらしを守るための人々のはたらき等を整理し、顕在化させるための話し合い。 | ★様々な人が協力していることがわかったが、わたしたちは何か協力してきたのだろうか |
| いかす | 「社会につながる」問い ⑨火事からくらしを守るために地域の一人としてできることを考えましょう。(本時) | 学 学んだことと実社会とをつなげるための話し合い | ★学習を通して何を学び、考え、自分の中で何が変容したのか |

小単元の終末段階で目指す子供の姿

「火事からくらしを守るために、火事が起きたときには消防署で働く人たちだけではなく、警察など関係するところが連携して対応していること、火事を防ぐために消防署などが地域の人々と協力していることが分かった。また、私の暮らす沖野にも消防団があり、他の仕事をしながら火事から沖野のまちを守るために日頃から訓練をするなど、頑張ってくださっている方々がいることも初めて知った。消防団の方々のことも知って、私も沖野に暮らす地域の一人として、火事からくらしを守るために自分たちにできることをしていきたいと思った。」

6 小単元の指導計画（9時間扱い）

（子供を見取る評価の場→☆，子どもの自己評価の場→★）

| 段階 | 時間 | 学習課題 ○学習活動・子どもの反応 | ※留意点・評価 | 資料 |
|-----|---|--|--|---|
| つかむ | 1 | <p>イラストやグラフを見て、気付いたことを話し合い、学習問題を作りましょう</p> <p>○ イラストから、どのような人が、どのようなことをしているのかを話し合い、火事が起きたときの取り組みについて考える。</p> <p>・消防士・警察官・救急車の人</p> <p>○ 話し合ったことを基に、学習問題をつくる。</p> | <p>主体的に取り組む態度</p> <p>火事が起きたときに消火活動をしている人々の様子や火事に関するグラフに関心をもち、進んで調べようとしている。【発言・ノート】☆</p> | <p>火事が起きたときの様子を描いたイラスト</p> <p>消防自動車</p> <p>が到着するまでの時間</p> |
| | <p>火事が起きたときや火事をふせぐために、どのような人々が、どのようなはたらきをしているのでしょうか。</p> | | | |
| | 2 | <p>学習問題について予想し、学習計画を立てよう。</p> <p>○ 学習問題について予想をする。</p> <p>○ 予想をしたことを基に、学習計画を立てる。</p> | | |
| 調べる | 3 | <p>消防署の人たちは、火事が起きたときのため、どのようなことをしているのでしょうか。</p> <p>○ 消防署の見学や消防署の方の話を基に、訓練や道具の点検の様子、勤務時間、消防自動車、防火服や道具などに関する情報を集め、読み取る。</p> <p>火事が起きたとき、素早く確実に安全に対処し、人の命や財産を守るために、訓練や道具の点検をしたり、勤務時間を工夫したりしている。</p> | <p>※広報活動については火災予防運動、消防音楽隊について扱う。</p> <p>※設備・施設の点検についてはデパートやガソリンスタンドなどを扱う。</p> | <p>消防士の勤務時間表</p> <p>消防署の方の話（見学）</p> |
| | 4 | <p>消防署の人たちは、火事を防ぐため、どのようなことをしているのでしょうか。</p> <p>○ 消防署の方の話や資料を基に、広報活動、デパートや設備・施設の点検に関する情報を集め、読み取る。</p> <p>火事を防ぐため、火災予防運動や消防音楽隊などで防火を呼び掛けたり、設備や施設の点検を行ったりしている。</p> | <p>知識・技能</p> <p>消防署の人たちは地域の安全を守るため、様々な取り組みや工夫をしていることを理解している。【発言・ノート】☆</p> | <p>広報活動・点検の様子</p> <p>防火ポスター</p> <p>コンクール</p> <p>のチラシ</p> |
| | 5 | <p>119番に電話をかけると、どこにつながり、どこへ連絡がいくのでしょうか。</p> <p>○ 動画や資料から通信指令室を中心としたネットワークを活用した連携に関する情報を集め、図にまとめる。</p> <p>○ さまざまな関係機関に連絡を入れる理由について話し合い、緊急時への対応について考える。</p> <p>・火事の時に怪我をする人もいかもしれないから救急車にも連絡をするのではないかな。</p> <p>火事に素早く対応するため、119番にかけると通信指令室につながり、そこからさまざまな関係するところに連絡を入れている。</p> | <p>知識・技能</p> <p>通信指令室を中心としてネットワークを活用して連携している様子を図にまとめている。</p> <p>【ノート】☆</p> | <p>関係機関のイラスト</p> <p>通信指令室の方の話（動画）</p> |

| | | | | |
|------|-----------|--|---|--|
| 調べる | 6 | <p>わたしたちのまわりには、どこに、どのような消防施設があるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消防施設・設備の写真などから、消防施設・設備に関する情報を集め、読み取る。 ○ 消防施設の位置を記した地図などから、消防施設・設備の配置に関する情報を集め、読み取る。 ○ 消防施設・設備の配置場所のよさについて話し合い、緊急時への対応について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消火栓は道路沿いに多い。きっと消防車がすぐに水を出すことができるようにするためだ。 <p>わたしたちのまわりには、火事が起きたときのために、道沿いなど、すぐに水を出せるところに、消火栓などの消防施設や設備がある。</p> | <p>思・判・表</p> <p>消防施設や設備の多くが道路沿いにあることに気づき、そのよさについて考えている。</p> <p>【発表・ノート】☆☆</p> | <p>消防施設の写真</p> <p>消防施設を示した地図</p> |
| | 7 | <p>火事が起きたときや、火事を防ぐために、地域ではどのような取り組みが行われているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分自身の経験や資料などから、火事が起きたときや、火事を防ぐための地域での取り組みに関する情報を集め、読み取る。 <p>地域では、火災警報器の設置をしたり、避難訓練を実施したりしている。また、消防団があり、火事に備えて訓練や点検を行ったり、防火を呼び掛けたりしている。</p> | <p>※地域での取り組みについては、消防団・避難訓練の実施・参加・火災警報器の設置などについて扱う。</p> <p>知識・理解</p> <p>地域では、火事からくらしを守るために消防団など、様々な取り組みや工夫をしていることを理解している。【発表・ノート】☆</p> | <p>消防団・避難訓練の実施・参加・火災警報器の設置に関するwebサイト</p> |
| まとめる | 8 | <p>関係図をつくり、火事からくらしを守る人々のはたらきについてまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題を確認する。 ○ 学習問題について、関係図にしてまとめ、共通点を考える。 <p>消防署や地域の消防団をはじめとするさまざまな人々が協力して、火事を防ぐ取り組みや、火事に素早く対応するための取り組みを行い、火事からくらしを守っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの自分たちの行動を振り返り、火事からくらしを守る取り組みをしてきたのかを考える。 | <p>思・判・表</p> <p>学習問題について、学習してきたことを基に、関係図にまとめている</p> <p>【発表・ノート】☆☆</p> | <p>これまでの学習で作成した学習履歴</p> |
| 生かす | 9 (本時) | <p>火事からくらしを守るために、地域の一員としてわたしたちにできることを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの学習を振り返り、火事からくらしを守るために、自分たちにできることを考える。 ・ 消防団の方々のように、自分のまちは自分で守りたいので、地域で行われている消防団や婦人防火クラブの方々の取り組みを色々な人に伝えていきたい。 | <p>主体的に取り組む態度</p> <p>火災予防の活動など、地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えようとしている。</p> <p>【取組への参加・発表】☆☆</p> | <p>消防団の方々の話(動画)</p> |

7 本時の指導 (9/9)

(1) 本時のポイント

本時では、〈視点1〉に関連し、消防団の方々の自分のまちは自分で守りたいという思いに気付かせることによって、自分たちにできることはないかという気持ちを抱かせ、「社会につながる」問いを設定する。また、〈視点2〉に関連し、学んだことと実社会とをつなげるための話し合いを行う。本時までの学習で触れてきた資料を中心に考えることで「わたしたちにできること」をより明確にイメージできるのではないかと考える。さらに、個々で考えたことを共有し、友達と話し合うことで、自分が地域の一員として、社会とどのように関わっていけばよいのかという考えが深まり、地域の一員としての意識をさらに高めることができると考える。

(2) ねらい

これまで学習したことを生かしながら、火災予防の活動など、地域社会の一員として自分たちにできることを考えることができる。

(3) 学習過程

(子どもを見取る評価の場→☆, 子どもの自己評価の場→★)

| 時間 | 学習活動 | 学習形態 | ○発問 ●指示 ・児童の反応 | ※留意点 資料 評価 |
|-----|--|--------------------------|--|---|
| 10分 | <p>○前時のまとめを振り返り、消防団の取り組みについて考える。</p> <p>○消防団の方々が、どうして他の仕事をしながら活動しているのか、その理由について話し合い、消防団の方々のおもいについて考える。</p> <p>○消防団の方々のお話を聞き、消防団の方の思いについて考える。</p> | 全 | <p>○どのような人々が消防団になっているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢の方々 ・消防士をしていた人 ・その地域に住んでいる人 <p>○どうして消防団の方々はこの仕事をしながら消防団に入っているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事から自分たちのくらすまを守りたいから。 ・お金がもらえるから。 ・やりがいがあるから。 <p>●消防団の方々の話を聞いてみましょう。</p> | <p>※前時の学習履歴を掲示しながら、学習問題のまとめを振り返る。</p> <p>※「消防団員募集」のパンフレットを提示し、消防団の方々はこの仕事をしながら消防団としての活動もしていることを読み取る。</p> <p>※消防団の方々の「自分たちのまちは自分たちで守りたい」という思いに気付けるように、他の仕事をしながら消防団としての活動を行う大変さを理解させる。</p> <p>・消防団の方々のお話 (動画)</p> |
| 30分 | <p>○これまでの学習を振り返り火事からくらしを守るために自分たちにできることを考える。(グループでの話し合いの際は、実際に自分たちができることで、火事からくらしを守ることに最も役立ちそうなことをグループで決める。)</p> | 個 ↓ グループ ↓ 全 | <p>○これまでの学習を振り返り、火事からくらしを守るために、わたしたちにできることを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者に駐車をするときには消火栓などの近くを避けて駐車するように伝えたい。保護者になれば確実に伝えられるし、消火栓の前に駐車しては | <p>※具体的な資料を提示することで「わたしたちにできること」をより明確にイメージできるようにする。</p> <p>※話し合う時には、どのようにして結論に至ったのか、そのプロセスや理由を説明できるようにする。</p> <p>・消火栓の近くに路上駐車している画像</p> <p>・住宅火災の原因のグラフ</p> |

| | | | |
|----|--------------|---|--|
| | | <p>消火の時に水を引けず，消火活動が遅れてしまい，人の命に関わるから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンロの周りに燃えやすいものを置かないようにする。なぜかという、コンロが原因の火災が多いから。また、実行しやすく，火災の予防につながるから。 ・ごみは，朝に出すようにする。 | <p>(こんろ・放火・たばこ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が家の防火安全チェック表 ・婦人防火クラブの画像 ・消防団の画像 ・地域防災訓練の様子画像 など <p>※提示する資料は本時までの学習で触れたものを使用し，既習事項を生かして考えられるようにする。</p> <p>主体的に取り組む態度</p> <p>火災予防の活動など，地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えようしている。【ノート・取組への参加・発表】☆☆</p> |
| 5分 | ○本時の振り返りをする。 | <p>○今日の学習の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私も沖野に暮らす地域の一人として，火事から暮らしを守るために自分たちにできることをしていきたいと思った。 | <p>※本時の学習で考えたこと・分かったこと・思ったこと，自分自身の変容など，学習した内容についての振り返りになるようにする。</p> |

(4) 本時の評価規準

| | |
|-------------|--|
| 具体的評価規準 (B) | これまで学習したことを生かしながら，火災予防の活動など，地域社会の一員として自分たちにできることを表現している。 |
| A と判断する姿 | これまで学習したことを生かしながら，火災予防の活動など，地域社会の一員として自分たちにできることを，理由や根拠をもって具体的に表現している。 |
| C への手立て | 自分ができることについて既習事項を生かした例を補足し，課題を具体的にとらえさせる。 (火災報知機の設置が不十分なので設置を促すポスターを作るなど) |

(5) 板書計画

火事から暮らしを守るために，地域の一員としてわたしたちにできることを考えましょう。

○どのような人

- ・高齢の方々
- ・消防士をしていた人
- ・その地域に住んでいる人

○どうして

- ・お金がもらえるから。
- ・やりがいがあるから。

自分たちのまちは
自分たちで守りたい

消防団
の方の
写真

資料のグラ
フ・画像

資料のグラ
フ・画像

資料のグラ
フ・画像

資料のグラ
フ・画像

資料のグラ
フ・画像

資料のグラ
フ・画像

グループで決めた考え

グループで決めた考え

グループで決めた考え

グループで決めた考え

第3学年 社会科学学習指導案

授業者 仙台市立長命ヶ丘小学校
教諭 鶴田 嵩

1 単元名 市のうつりかわり

2 単元の目標

交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目して，聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして，年表などにまとめ，市や人々の生活の様子を捉え，それらの変化を考え，表現することを通して，市や人々の生活の様子は，時間の経過に伴い，移り変わってきたことを理解できるようにする。

3 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| 市の様子の移り変わりについて，聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして必要な情報を集め，読み取り，市や人々の生活の様子を理解している。 調べたことを年表や文などにまとめ，市や人々の生活の様子は，時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解している。 | 交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期による違いに着目して問いを見出し，市や人々の生活の様子について考え，表現している。 交通や公共施設の整備，人口や土地利用，生活の道具の変化を相互に関連付けたり，市の様子と人々の生活の様子の変化と結びつけたりして，市全体の変化の傾向を考え，学習したことを基に市の将来について考え表現している。 | 市の様子や移り変わりについて，予想や学習計画を立て，主体的に学習し，解決しようとしている。 学習したことを基に，これからの市の発展や市民としてできることなど市の将来について考えようとしている。 |

4 単元について

- 本単元「市のうつりかわり」は，新学習指導要領の内容（4）ア・イを受けて設定している。ここでは，交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具などの時期の違いに着目して，写真や地図などの資料を活用して調べることにより，市や人々の生活の様子を捉え，時間の経過に伴い，それらが移り変わってきたことを考え，理解することをねらいとしている。また，本単元は3学年社会科の学習の最後の単元に位置づけられている。自分たちが住んでいる市や人々の生活の移り変わりを学ぶことで，これからの市の発展に関心を持ち，市の将来について考えさせることのできる単元である。
- 本学級は，男子17名，女子16名，計33名の構成である。社会科の学習では，問題解決的な学習を進める中で，疑問を解決することに喜びを感じ，意欲的に学習に取り組んでいる児童が多い。「市の様子」の単元では，秋保・仙台駅前ビルアエル・せんだい農業園芸センター・仙台港に校外学習に出向き，仙台市の様子を実際に目で見て確かめる活動を通して，今の仙台市の様子について学習した。
- 本単元の指導にあたっては，まず3枚の仙台駅の写真（現在，30～40年前，60～70年前）を提示し，時代によって駅前の様子に変化していることを読み取らせる。その後，市の様子へと視野を広げさせ，学習問題「仙台市の様子は，どのように移り変わってきたのだろうか」を設定する。次に，児童の予想を前単元の「市の様子」から交通，公共施設，土地利用の3つの観点に人口，道具を加えた，5つの観点到整理し，地図や写真資料を使って調べさせていく。そして，それぞれの観点で学習したことを年表にまとめ，時代の変化によって仙台市の様子が発展し移り変わってきたことを理解させる。最後に，新たな課題を抱える仙台市の現状から，児童が学習したことを生かし，市の将来の様子について考えさせたい。

5 小単元構成図（視点との関わり）

単元名「市のうつりかわり」

目標 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することを通して、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにする。

主体的・対話的で深い学び

| | 視点1【問いの構成】 | 視点2【 学 び合い】 | 視点3【★ 振 り返り】 |
|------|--|-----------------------------------|-------------------------------|
| つかむ | 「問題を発見する」ための問い ①昔の仙台駅はどのような様子なのだろうか。 | | ★仙台市の移り変わりについてどのようなことが予想されるか？ |
| | 学習問題 仙台市の様子は、どのように移り変わってきたのだろうか。 ②仙台市の変化について考え、学習計画を立てよう。 | | |
| 調べ | 予想1→③④ 「交通」 予想2→⑤⑥ 「土地利用」 予想3→⑦ 「公共施設」 予想4→⑧⑨ 「生活の道具」 | | |
| | 「調べて、知る」ための問い ③④仙台市の交通は、どのように移り変わってきたのだろうか。 ⑤⑥仙台市の土地の使われ方は、どのように移り変わってきたのだろうか。 ⑦仙台市の公共施設は、どのように移り変わってきたのだろうか。 ⑧⑨生活の道具は、どのように移り変わってきたのだろうか。 | 学交通が人々の暮らしが関わって変化したことを捉えるための話合い | |
| まとめる | 「考えて、分かる」ための問い ⑩仙台の移り変わりについてまとめた年表を使って、学習問題に対する自分の考えをまとめよう。 | 学それぞれの観点に関連付け、どのように移り変わっているか考えるため | ★予想と比べて、気付いたことは？ |
| | 「社会につながる」問い ⑪⑫これからも住みやすい仙台市にするにはどうしたらよいだろうか。（本時） | 学仙台市の未来の様子から、住みやすい市について考えるための話合い | ★学習を通して考えたことは？ |
| いかす | | | |

単元の終末段階で目指す子供の姿

「わたしは、仙台市が昭和、平成、令和と時代が進むにつれてどんどん市が発展していることを学んだ。仙台市は周りの市と合わさってどんどん大きくなり、人口も増え、交通が発達し、家や公共施設も増えていることが分かった。そして、生活の道具も進歩して便利になっている。授業の最後にこれからの仙台市を考えていくと、人口が減ることやお年寄り世代が多くなることが分かった。わたしは、みんなが幸せな仙台市になるようにどの地域にも交通が通る市になってほしい。」

6 単元の指導計画（12時間扱い）

（子供を見取る評価の場→☆，子供の自己評価の場→★）

| 段階 | 時間 | 学習課題 ○学習活動・子供の反応 | ※留意点・評価 | 資料 |
|-----|--------|--|---|---|
| つかむ | 1 | <p>昔の仙台市はどのような様子だったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の仙台市の様子について想起する。 ○ 昔の仙台駅の写真を見て，昔の仙台市の様子に関心を持つ。 <p>仙台市の様子は，どのように移り変わってきたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 仙台駅の周りの様子はどのようにになっているか地図をもとに話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・人が増えたね。人口が増えたのかな。 ・ビルも増えたね。 ・市電は，今は走ってないよね。 ・公共施設はどうなったのかな。 | <p>※ 昔の「仙台駅」の写真を提示し，移り変わりを意識させる。</p> <p>主体的に取り組む態度 市の様子や移り変わりについて，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習を追究し，解決しようとしている。 【発言・観察】☆</p> | <p>仙台駅の写真</p> <p>仙台市の地図</p> |
| | 2 | <p>仙台市の変化について考え，学習計画をつくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題の予想から，学習計画を立てる。 ○ 仙台駅の写真を時代ごと並べ，年表について知る。 ○ 学習したことを年表にまとめていくことを知る。 | <p>※ 仙台駅の写真を時代順に整理し，年表にまとめることを知らせ，見通しを持たせる。</p> | <p>仙台市の地図</p> |
| 調べる | 3 4 | <p>仙台市の交通は，どのように移り変わってきたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの時代の交通の地図を比べ，その変化について話し合う。 ○ 市電が廃止になり，地下鉄が開通したことを知る。 ○ 高速道路や新幹線などの移り変わりについて知る。 <p>仙台市の交通は，自動車がが増えて，交通渋滞や事故が増えた。そのため，道路を広げたり増やしたりした。また，市電が廃止され，地下鉄が開通され，便利になった。</p> | <p>知識・技能 仙台市の交通の移り変わりについて，写真やグラフから読み取り，時代とともに変化していることを理解している。【発言・ノート】☆</p> | <p>仙台市の交通網の地図</p> <p>衝突事故の写真</p> <p>自家用車の保有台数</p> |
| | 5 6 | <p>仙台市の土地の使われ方は，どのように移り変わってきたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人口のグラフと合併の様子が分かる地図を見せ，変化について話し合う。 ○ 土地の使われ方がどのように変化したのか地図から読み取る。 <p>仙台市の人口は，近くの市や町と合併し，増えてきた。また，田畑や森林が住宅や商業施設に変わっていった。</p> | <p>※ 人口増加と，仙台市の土地の広がりについて調べ，合併について捉えさせる。</p> <p>知識・技能 仙台市の人口が合併により増えたことを理解し，土地の使われ方も変化していることに気付いている。 【発言・ノート】☆</p> | <p>人口の増減の棒グラフ</p> <p>仙台市の合併前後の地図</p> <p>仙台市の地図と写真</p> |

| | | | | |
|------|------------------|---|---|---|
| 調べる | 7 | <p>仙台市の公共施設は、どのように移り変わってきたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共施設にはどのようなものがあるか想起する。 ○ 市役所の様子から、変化について考える。 ○ 小学校、図書館、市民センターの移り変わりについて考える。 ○ 公共施設の建設・維持には、税金が使われていることを知る。 <p>仙台市の公共施設は、小学校や市民センター、図書館などが増え、人々は暮らしやすくなった。</p> | <p>※ 公共施設が税金で成り立っていることから公共施設と人口との関わりを考えさせる。</p> <p>知識・技能 仙台市の公共施設が時代とともに増え、市民が暮らしやすくなったことを理解している。【発言・ノート】☆</p> | <p>市役所の写真</p> <p>仙台市の白地図</p> <p>公共施設を点で表記した地図</p> |
| | 8 9 | <p>生活の道具は、どのように変化したのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3枚の電話の写真を時代ごとに並び替える。 ○ それぞれの道具の良さについて考える。 ○ 洗濯機、暖房の写真から、移り変わりについて考える。 <p>生活の道具は、時代とともに使いやすいように変わり、人々の生活は便利になった。</p> | <p>※ 昔の道具に対する不便さではなく、良さについて捉えさせる。</p> <p>知識・技能 生活の道具が時代とともに変化していることを読み取り、人々の生活が便利になっていることを理解している。【発言・ノート】☆</p> | <p>電話の移り変わりの写真</p> <p>洗濯機の移り変わりの写真</p> <p>暖房の移り変わりの写真</p> |
| まとめる | 10 | <p>仙台市の移り変わりについてまとめた年表を使って、学習問題に対する自分の考えをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年表を時代ごとに見て、気付いたことを話し合う。 ○ 仙台市がどのような街を目指していたのか考える。 <p>昔は、人口や住宅が少なく、市の大きさも小さかった。しかし、今は交通が発達し、公共施設や住宅も増え、市のようすは移り変わってきた。</p> | <p>思・判・表 交通や公共施設、人口や土地利用、生活の道具の変化を相互に関連付け、市の移り変わりについて考え、表現している。【発言・ノート】☆</p> | <p>仙台市の移り変わり年表</p> |
| いかす | 11 (本時) 12 | <p>これからも住みやすい仙台市にするにはどうしたらよいだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 仙台市の人口の推移から市の将来の様子について考える。 ○ 市の職員のインタビュー動画を見て、市の展望について考える。 ○ 市の取り組みについて知り、市の将来についての提案書を作る。 | <p>主体的に取り組む態度 学習したことを基に、市の将来について考えようとしている。【発表・ノート】☆★</p> <p>思・判・表 5つの観点の変化を相互に関連付け学習したことを基に市の将来について考え、表現している。【発表・ノート】☆★</p> | <p>市の人口のグラフ</p> <p>市役所職員インタビュー動画</p> |

7 本時の指導（11/12）

（1）本時のポイント

本時では、＜視点1＞に関連し、「いかす」の段階において、仙台市の人口の推移のグラフから今後の人口が減少傾向になることに気付かせる。その後仙台市職員のインタビューから、市の将来に関心を持たせ、学習問題を設定することで、既習を生かし、市の将来に対して話し合うことができると考える。

（2）ねらい

学習したことを基に、これからの市の発展や市民としてできることなど市の将来について考えることができる。

（3）学習過程

（子供を見取る評価の場→☆，子供の自己評価の場→★）

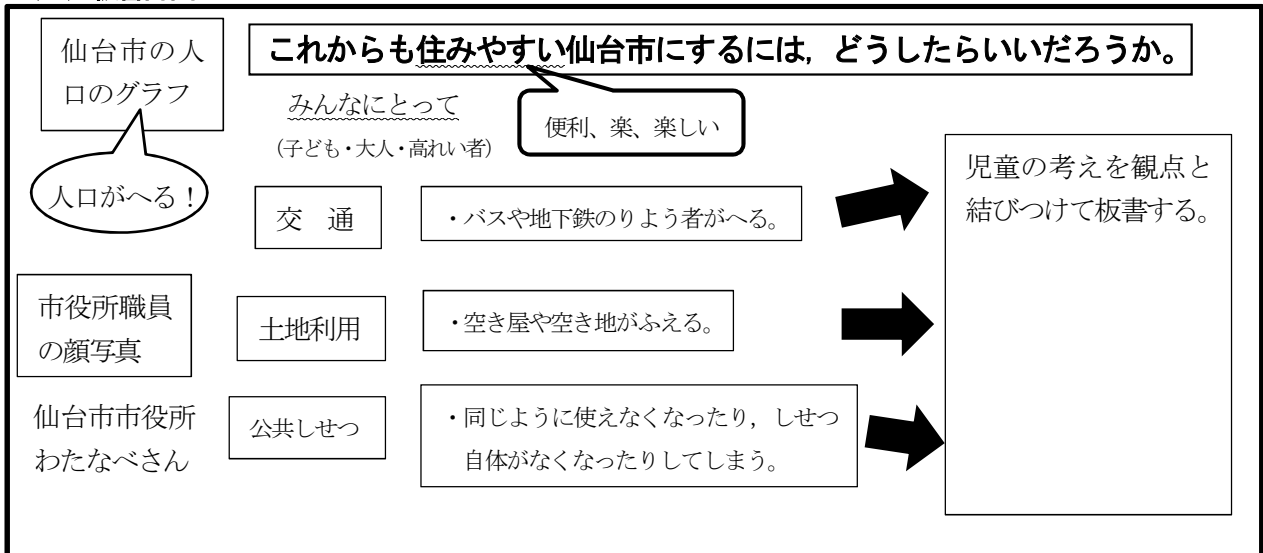
| 時間 | 学習活動 | 学習形態 | ○発問 ●指示 ・児童の反応 | ※留意点 資料 □評価 |
|---|---|---------------------------|--|--|
| 10分 | <p>○今後の仙台市の人口が減少することに気付く。</p> <p>○仙台市職員のインタビューから学習問題を立てる。</p> | 全 | <p>○仙台市の人口のグラフです。今後仙台市はどのようになると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからどんどん増えると思う。 ・え，少なくなるの！ <p>●仙台市職員のインタビューを聞きましょう。</p> <p>○仙台市にはどのような問題があると言っていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの利用者が減る。 ・空き家や空き地が増える。 ・公共施設を今までと同じように使えなくなったり，施設自体がなくなったりしてしまう。 | <p>仙台市の人口の推移のグラフ</p> <p>※増えると予想される人口が，今後減少傾向になることを知らせ，未来に目を向けさせる。</p> <p>仙台市職員のインタビュー動画</p> <p>※全体でインタビュー内容を整理し，市の抱える課題を共有する。</p> <p>※仙台市へ向けた提案書を作成することを知らせ，学習の見通しを持たせる。</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>これからも住みやすい仙台市にするにはどうしたらよいだろうか。＜視点1＞</p> </div> | | | | |
| 5分 | <p>○住みやすい仙台市について考える。</p> | 個 ↓ グループ ↓ 全体 | <p>○住みやすいってどういうことかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい ・便利 ・安心 <p>○それは誰にとってですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者 ・子供 ・みんな ・仙台市に住んでいる人 <p>●住みやすい仙台市について考えましょう。</p> <p>(交通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの利用者を増やすためにイベントをしたらいい。 ・電車やバスを遠くまで延ばせばいい。 <p>(土地利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊び場に変えたらいい。 ・お店に変えたらいい。 <p>(公共施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイスクールみたいに学校の中に作ったらいいと思う。 | <p>※「住みやすい市」について考えることで，誰にとってどのようなことがよいか共有する。</p> <p>※学習したことを生かすことができるよう，市の抱える課題から話合いの観点を交通，土地利用，公共施設の3つに焦点化する。</p> <p>※3つの観点の中から1つをグループごとに指定し，考えを付箋に書かせる。その後，自分の中でどの考えが一番住みやすい仙台市になっているか1つに絞り，グループで発表する。</p> |
| 10分 | <p>○インタビューから，住みやすい市の様子を考える。</p> | | <p>全体</p> | <p>主体的に取り組む態度</p> <p>学習したことを基に，これからの市の発展や市民としてできることなど市の将来について考えようとしている。(付箋紙・発表) ☆★</p> |

| | | | | |
|-----|---|---|---|--|
| 15分 | ○話し合ったことを発表する。 ○発表を基によりよい提案について話し合う。 | | ●グループで話し合ったことを発表しましょう。 ○友達の発表について意見はありますか。 ・イベントをすることには賛成です。スーパーみたいにポイント使ったらいいと思います。 ・公共施設を集めるとマイスクールのように交流ができると思います。 ・遊び場もいいと思うけど、暮らしやすくするためにお店があってもいいと思います。 | ※グループ活動では、根拠を明確にすることで、住みよい仙台市につながるかを考える。 ※発表させる際には、一つのグループの発表から話し合いを広げ、より住みやすい市について話し合わせる。 ※児童の考えが市の課題に沿うように、板書と照らし合わせて掲示するよう工夫する。 |
| 5分 | ○振り返りを書く。 | 個 | ●仙台市の未来の姿をみんなで話し合いました。今日の学習の振り返りを書きましょう。 | ※研究の視点3の②学び方を利用し振り返らせる。 |

(4) 本時の評価規準

| | |
|-------------|--|
| 具体的評価基準 (B) | インタビューから仙台市の抱える課題について捉え、市の将来について考えようとしている。 |
| A と判断する姿 | インタビューから仙台市の抱える課題について捉え、友達の意見を取り入れたり、関連づけてたりして、市の将来がより住みやすい街になるように考えようとしている。 |
| C への手立て | インタビューの内容を整理した表を基に補足し、課題を具体的に捉えさせる。自分の身近な地域に置き換えて、考えさせる。 |

(5) 板書計画



第4学年 社会科学学習指導案

授業者 仙台市立鶴巻小学校
教諭 野村文弥

1 小単元名 地震からくらしを守る

2 小単元の目標

過去に発生した地域の自然災害や、地域の関係機関や人々が協力して災害や私たちの命やくらしを守るための工夫や努力をしていることについて調べ、自然災害から命やくらしを守るためには、市、地域、自分が連携・協力して取り組まなければならないことや、私たち一人一人が防災の意識を高めていく必要性があることを考えられるようにする。

3 小単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| <p>地域社会における防災に関わる諸活動について、防災活動にかかわる地域の諸機関や地域の人々は、減災に向けて協力したり、工夫や努力をしたりしていることを理解している。</p> <p>取材や見学、防災マップ等の資料を活用し、必要な情報を集める活動を通して、市や区、地域、自分との関係について理解している。</p> | <p>過去に発生した地域の自然災害に着目して学習問題を作り、災害から命やくらしを守る取組について考え表現している。</p> <p>災害から命やくらしを守るための取組を、市(公助)・地域(共助)・自分(自助)の三者を関係図にまとめ、三者の関係性や重要性を自分の言葉で説明している。</p> | <p>自然災害から命やくらしを守ることにについて、予想や学習計画を立て、主体的に学習し、解決しようとしている。</p> <p>学習したことを基に、市、地域、自分でできることなど、自然災害に備える方法を考えようとしている。</p> |

4 小単元について

- 本単元は、新学習指導要領第4学年の内容(3)にあたり、自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を迫り・解決する活動を通して、地域の関係機関や人々による協力体制や今後への備えについて理解する単元である。具体的には、聞き取り調査や地図や年表などの資料で調べたり、発表したりすることを通して災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考えたり表現したりする力を身に付けさせていく。また、本単元は、5学年の内容(5)のアイにつながっていくものであり、国土において発生する自然災害との関係を理解し国民生活や国土の環境保全への関心を高めさせていくため、4学年では、過去に身近な地域で発生した自然災害を通して、減災に向けて人々を守っている活動とその理念をきちんと理解させておく必要がある。地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、さまざまな協力の上で対処してきた。また、今後想定される災害に対し、あらゆる備えをしている。このことを児童が理解し、考えていくことで、社会の一員としてよりよい社会生活を創造していこうとする態度が身に付くものと考えられる。
 - 本学級33名の子供たちは、明るく、男女の仲がとても良い。東日本大震災の際、1歳児である。震災時の記憶が残っている子供はほとんどいないが、生活する中で学んだり耳にしたりして、身近に起こった未曾有の大災害を知識として理解しようとしている子供が大多数である。
- 一方、本校は被災校であり、仙台版防災教育副読本での学習や中学校区で連携した引き渡し訓練なども取り入れながら、記憶を薄れさせないように取り組んでいる。口答調査から、子供たちの意識として「防災・減災」が100%「自分事」になっているとは思えない。今一度、身近な地域で起こった事実を突きつけ、実感を持たせ、これから起こりうる災害への備えを考えられる力を育てていく必要がある。
- 本小単元の指導にあたり、まず過去に発生した東日本大震災時の本校と付近の様子の写真を提示し、被害の大きさや地震災害が身近に起こりうる問題であることに気付かせる。そして、「この地域の人々は、大変な状況をどのようにして乗り越えてきたのだろうか」を問い、子供たちとのやりとりを通して学習問題につなげる。また、学習の成果や学びの様子が視覚化できるよう、事前に学習問題に対する予想を立て、公助・共助・自助に分類し表に整理しておく。そして、学習問題の解決に向け地域や家族の協力を得ながら調査を進めていく。調べる学習では、学校の備蓄倉庫や地域の防災設備、コミュニティ防災センターなどの身近な場所も見学や調査をさせ、具体的な対策を自分の目で見て体感させていく。また、市や区の防災訓練に着目させ、防災計画や関係者へのインタビューから計画や未然防止の視点について学ばせる。まとめる段階では、市・区・地域・自分それぞれに役割があり、連携協力している関係性にあることに気付かせていく。いかす段階では、防災会議を開き、それまで学んできた中で自分自身が大切だと思うことについて立場を明確にして話し合いをさせ、深い学びにつなげていきたい。

5 小単元構想図（視点との関わり）

単元名「地震からくらしを守る」

目標 過去に発生した地域の自然災害や、地域の関係機関や人々が協力して災害や私たちの命やくらしを守るための工夫や努力をしていることについて調べ、自然災害から命やくらしを守るためには、市、地域、自分が連携・協力して取り組まなければならないことや、私たち一人一人が防災の意識を高めていく必要性があることを考えられるようにする。

主体的・対話的で深い学び

| | 視点1【問いの構成】 | 視点2【学び合い】 | 視点3【★振り返り】 |
|-------------|---|---|---|
| つ か む | 「問題を発見する」ための問い ① 鶴巻では、大地震が起きてからどのような津波の被害があり、どのようにして乗り越えてきたのだろうか。 ② 自然災害について考え、学習計画を立てよう。 | 学「何もしていないわけがない。何かしているはずだ。」という声を拾う。 | ★学習前まで思っていた「東日本大震災」のイメージと捉え方がどう変わったか。 |
| | 学習問題 地震から命やくらしを守るために、だれがどのようなことをしているのだろうか。 | | |
| 調 べ る | 予想1→③へ 「自助」 | 予想2→④⑤⑦へ 「共助」 | 予想3→⑥へ 「公助」 |
| | 「調べて、知る」ための問い ③ 家庭では、あの時、何があったのだろうか。防災に向けて今どのような取組をしているのだろうか。 ④⑤ 学校や学校の周りでは、あの時、何があったのだろうか。防災に向けて今どのような取組をしているのだろうか。 ⑥ 仙台市や宮城県では、あの時、何があったのだろうか。防災に向けて今どのような取組をしているのだろうか。 ⑦ 鶴巻地域では、あの時、何があったのだろうか。防災に向けて今どのような取組をしているのだろうか。 | 学 自主防災隊を通じて地域と市の連携体制を関連付ける話合い 学 友達がこれまでの学びをどうとらえているか理解し、お互いのよさを取り入れるための話合い | ★自助・共助・公助それぞれ自分の言葉で「大切」であると言えるか？ ★地震からくらしを守るには、自助・共助・公助が3つとも必要である。 |
| | 「考えて、分かる」ための問い ⑧ 地震から命やくらしを守るために、だれがどのような取組をしていただろう。 | | |
| い か す | 「社会につながる」問い ⑨地震から命やくらしを守るために自分たちにできることは何だろう。(本時) | 学 自助努力が共助や公助を理解することになると理解し合うための話合い | ★学習を通して見えた自助努力と共助・公助とのつながりとは？ |

小単元の終末段階で目指す子供の姿

「わたしは、災害から命やくらしを守るためには、市（公助）・地域（共助）・自分（自助）の三者が協力合っていかなければならないことが分かった。また、災害が起きたら誰もが被災者になることから、まずは自分の身を自分で守ることや、被害を最小限にできるよう、日頃から地域の行事に参加したり、地域の方と仲良くしたりして、助け合えるようにしていきたい。」

6 小単元の指導計画（9時間扱い）

（子供を見取る評価の場→☆，子供の自己評価の場→★）

| 段階 | 時間 | 学習課題 | ○学習活動 ・子供の反応 | ※留意点・評価 | 資料 |
|-----|--|--|-----------------------|---|--|
| つかむ | 1 | ○世界の地震マップ，日本の地震マップ，災害年表を順に見せ，日本が世界的に見ても地震が多く，中でも宮城県沖地震や東日本大震災がいかに身近なものか知る。 鶴巻では大地震が起きてからどのような津波の被害があったのだろうか ○震災の時にどんなことが起きたのかを知る。 ・津波で人も家も流された。・電気がつかなくなった。 ・それから1ヶ月以上くらしが不自由だった。 鶴巻は東日本大震災の影響をものすごく受けた。 私たちが今普通に生活できているのは，震災を乗り越え，何とかしようと努力してきたから。そして，これからも災害は身近に起こりうる問題である。 ○この地域の人々が，大変な状況をどのようにして乗り越えてきたのか知る。 ・助け合ってきた。・自衛隊の人や市役所の人の力。 | ○学習活動 ・子供の反応 | ※ 地図・年表・写真・資料等を提示して身近な場所で何が起きたのか知る。 ※ 過去の災害からこの地域の地震による水害被害を知らせる。 ※ 身近に大災害があったことを再確認し，どのようにして普通の生活に戻ったのかを考えさせる。 | 世界の地震マップ 日本の地震マップ 仙台の災害・復興年表 震災時の本校と地域の写真（高砂大橋） |
| | 地震から命やくらしを守るために，だれがどのようなことをしているのだろうか。 | | | | |
| 調べる | 2 | 学習問題について予想しよう。学習計画を立てよう。 ○地震から命やくらしをまもるために，だれがどのような取組をしているのか予想する。 ・自衛隊・消防士・警察官による救助の訓練。 ・地域の避難訓練。 ・家族で避難の話し合い，ラジオ，避難グッズなどの用意，連絡先の登録。 取組は大きく公助（市）・共助（地域）・自助（自分）に分類できる。共助について詳しく調べる必要がある。 ○学習の進め方を確認する。自助→公助→共助 | ○学習活動 ・子供の反応 | ※ 予想をさせた後，公助・共助・自助に分類し整理してまとめる。 ※ 同時に，共助に対する認識や自分自身の備えが不十分であることをおさえておく。 ※ 次時の予告として家庭で聞き取り調査をすることを伝える。 | ホワイトボード 予想を整理する表 家庭の聞き取り調査シート |
| | 3 | 家庭では，あの時，何があったのだろうか。防災に向けて今どのような取組をしているのだろうか。 ○家庭で調べてきたこと（震災時の話，市や地域に助けられた事例，各家庭のルールや備え）を発表し合う。 ○自分・家庭，地域，市や区の取組を整理しまとめる。 家庭では，震災の経験を生かし，日頃から話し合ったり避難のルールを決めたりしている。地域や市に協力してもらった仕組みを知っておくと便利。いざとなったら自分の判断が大切。 | ○学習活動 ・子供の反応 | ※ 実際の備えグッズを持参させ，見せ合う。 ※ 防災副読本を参考にしながら取り上げる。 ※ 話し合う際には，ホワイトボードを活用し，分かったことやそこから気付いたことなどを可視化して表記させるようにする。 | 防災教育副読本 ハザードマップ インタビュー映像 |
| | 4 | 学校や学校の周りでは，あの時，何があったのだろうか。防災に向けて今どのような取組をしているのだろうか。 ○当時の鶴巻小の校長先生と児童，中野小の先生のインタビュー映像を見る。 ○震災時の高砂中学区の被害を知る。 ○校内の防災に向けた取組を教頭に，市民センターとしての取組を高砂市民センター長にインタビューする。 | ○学習活動 ・子供の反応 | ※ 旧中野小も岡田小も高砂中学校区であることを確認する。 ※ 子どもたちから活動が生まれるよう子供の反応やそれまでの振り返りも確認しておく。 | |
| | 5 | ○校内の防災倉庫，防火設備の見学 学校では，防災倉庫に非常用品を備蓄している。 何かあったときはコミュニティ防災センターに避難することも検討する。 | ○学習活動 ・子供の反応 | | |
| 6 | 仙台市や宮城県では，あの時，何があったのだろうか。防災に向けて今どのような取組をしているのだろうか。 | ○学習活動 ・子供の反応 | ※ インターネットや資料から仙台市や宮城県 | | |

| | | | | |
|------------------|-----------|--|--|--|
| 調 べ る | 7 | <p>○防災に向けた取組を調べまとめる。</p> <p>○市役所の危機管理室減災推進課、防災・減災アドバイザーにインタビューした映像を見る。防災・減災アドバイザーの話から、市役所や宮城県の取組を知る。</p> <p>市は、市民に伝えるさまざまな取組をしている。非常時には国や自衛隊、宮城県とも協力して対応することにしている。すべて、防災計画に決められている。</p> <p>鶴巻地域では、あの時、何があったのだろうか。防災に向けて今どのような取組をしているのだろうか。</p> <p>○自主防災隊の存在を調べる。そのほか、お年寄りや車いすなど避難に時間のかかる人々への取組など地域の防災に向けた取組を調べ、まとめる。</p> <p>○町内会長と地域、自主防災組織（SBL）の方の話を聞く。</p> <p>地域では、大地震に備えて訓練したり避難計画を作ったりしている。自主防災隊という助け合う組織もあり、市と地域が協力する体制が作られている。</p> | <p>がどのような取組をしているか調べ学習を行う。</p> <p>※ 取材したい、直接やりとりをして教えて欲しいという声があれば、実現させる。</p> <p>※ 町内会長の取材内容を取り上げ、地域が学校や市と連携して様々な取組を行っていることに気付かせる。</p> <p>知識・理解 家庭、学校、地域、市や区の防災に向けた取組を理解している。</p> <p>【発言・ノート】☆</p> | <p>パンフレット 仙台市防災マップ 防災マニュアル 市民センター、市役所の危機管理室防災・減災アドバイザー、町内会長、地域の方への取材</p> |
| ま と め る | 8 | <p>地震から命や暮らしを守るために、だれがどのような取組をしていたらう。</p> <p>○6月18日の山形県沖地震の時の心境について記録した用紙から感じたことを紹介させる。</p> <p>○学習問題を振り返り、これまで調べてきたことを自助、公助、共助の順に発表させ、表にまとめる。表からわかることを考えさせる。その際、予想段階で作成した表と比較させる。</p> <p>○災害から命や暮らしを守るためには、自助・公助・共助の三者がどう関係しているか関係図を作成する。（関係図の表し方・思考ツール紹介）</p> <p>○グループで共有し、よりよい意見を全体で共有する。</p> <p>地震から命や暮らしを守るため、自分・市、地域それぞれが努力を続けている。三者はどれもなくてはならない関係であり、協力し合っていかなければならない。</p> | <p>※ 自分自身が体験した地震の怖さを思い出し、本時のまとめの学習の重要性を再確認する。</p> <p>※ 自助・共助・公助を線で結び、関係性や必要性を図と言葉でまとめさせる。</p> <p>思・判・表 調べたことを基に、「自助」「公助」「共助」の関係性について考え、図や言葉で適切に表現している。</p> <p>【発表・ノート】☆☆</p> | <p>予想段階でまとめた表 思考ツール一覧</p> |
| い か す | 9 (本時) | <p>○これまでインタビュー映像に答えてくれていた方々をゲストとして紹介する。</p> <p>○自分たちの住む鶴巻は水害の多い地域であり、大変な被害にあったことを資料から捉え直す。</p> <p>○防災・減災アドバイザーから、震災時、若林消防署員として現場での体験や、公助にも限界があつて何より自助・共助が大切であるという話を聞く。</p> <p>地震から命や暮らしを守るために自分たちにできることは何だろう。</p> <p>○ゲストティーチャーに参観してもらい、防災会議を開くことを確認し、これから一人一人が自分たちにできることは何かを考え話し合う。</p> <p>○ゲストティーチャーから、防災会議を参観した感想を話してもらう。</p> <p>一人一人の防災意識の高まりが大切。助け合うためにも地域での人と人との関係作りも大切。</p> <p>○学習する前と比べて、自分の考えがどのように変わったか理由をつけて振り返りに書く。</p> | <p>※ ゲストティーチャーのうち、防災・減災アドバイザーから当時の消防の経験を踏まえ、公助にも限界があること、自助・共助の重要性を話してもらう。</p> <p>※ ゲストに意見をいただき、価値付けしてもらう。</p> <p>主体的に取り組む態度 学習したことを生かしてどうしたら自分たちが減災行動に移せるか考え、防災の意識を高めている。</p> <p>【様子・発表】☆☆</p> | <p>ゲスト これまでの掲示物 小単元の導入で予想した表 鶴巻付近の震災時の写真 前時に表現した三者の関係図</p> |

7 本時の指導 (9/9)

(1) 本時のポイント

本時では、〈視点3〉に関連し、「いかす」の段階において、防災会議を開くことで子供たちに自らの学びを振り返らせ、社会的事象への関わり方を考えさせ、学びに向かう意欲や社会に関わろうとする態度を育てていきたい。そのために、現実味を持たせるため、小単元を通してお世話になった方々をゲストティーチャーとしてお招きすることにした。防災・減災アドバイザーの、公助には限界があるという話を手がかりとして「自助・共助」の重要性を再確認し、自分たちにできることを考えさせ、話し合わせる。その際、家庭・学校・地域の場面を設定しグループで意見交換させる。本時を通して、自助・公助・共助の三者の関係を捉え直し、地震災害から命やくらしを守るために一人一人に何ができるか考えようとする意識を高めさせたい。

(2) ねらい

話し合いを通して、地震災害から命やくらしを守るために、自助・共助が大切であることを再確認し、一人一人の防災の意識を高めていく。

(3) 学習過程

(子供を見取る評価の場→☆, 子供の自己評価の場→★)

| 時間 | 学習活動 | 学習形態 | ○発問 ●指示 ・児童の反応 | ※留意点 資料 □評価 |
|---|---|-------------|--|---|
| 10分 | <p>○自分たちの住む鶴巻は水害の多い地域であり、大変な被害にあったことを資料から捉え直す。</p> <p>○防災・減災アドバイザーから、その時の体験や、公助にも限界があり自助・共助が大切であるという話を聞く。</p> | 全 ↓ 個 | <p>●中野小の様子、鶴巻小の様子、高砂大橋を遡上する津波の様子を振り返ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴巻は水害の地域なんだ。 ・自分たちの地域で起きたことだから、しっかり学ばなければならない。 <p>●防災・減災アドバイザーの及川さんの話から、自助、共助の大切さを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なるほど。自助が大切ということかな。 ・自分にできることをもっと考えていかないと。 ・もっと自分にもできることありそう。 | <p>※地震によって何が起こるのか、どうなってしまうのか、鶴巻で東日本大震災の際に何が起きたのか資料で振り返らせる。</p> <p>※本時の学習を自分事としてとらえられるよう児童のつぶやきを拾い、対話しながら進めていく。</p> <p>※防災・減災アドバイザーより、公助にも限界があることと、自助・共助の重要性を話してもらおう。</p> <p>※自助・公助・共助の関係について書いた児童のノートを掲示物にして掲示しておき、手がかりとさせる。</p> <p>※ゲストの方の話を受け、自助・共助の重要性を再確認することで、本時の「自分たちにできることは何か」を考える手がかりとする。</p> |
| 地震から命やくらしを守るために自分たちにできることは何だろう。〈視点3〉 | | | | |
| | <p>○防災会議を開くことを確認し、命やくらしを守るために自分たちにできることを考え発表する。</p> | | <p>●地震から命やくらしを守るために自分たちにできることを考えて発表しましょう。</p> <p><家庭></p> <ul style="list-style-type: none"> ・やはりお家で状況に応じた避難場所を確認しておきたいと思う。 ・地域の方の話から、救助バックをただ用意するのではなくて、使い方もしっかりと確認したい。 <p><学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の話のしっかりと聞くのはどうか | <p>※家庭・学校・地域の3つの場面を設定し、それぞれの場で自分たちにできることを考えて話し合うことを伝える。</p> <p>※努力を要する児童への指導・支援の手だて…前時にまとめた三者の関係図を見直させ、自分が自助と共助どちらをより大切に考えたか考えさせ、そこからどんなことができそうか、問い直す。</p> <p>※交流させる際には、考えが出し</p> |

| | | | | |
|-----|---------------------------------|--------------------------------------|---|--|
| 25分 | ○ゲストティーチャーから防災会議を参観した感想を話してもらう。 | 個 ↓ グ ル ー プ ↓ 全 | <p>な。命を守ることに繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放送をよく聞くのも日頃から訓練できる。 ・家庭の備えとも似ているけれど、防災倉庫の中身の使い方とかも練習が必要。 ・避難訓練もしっかり参加しなきゃ。 <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、防災訓練に参加しようと思う。 ・お祭りとかの行事にも参加したい。 <p>●今日の防災会議について、ゲストティーチャーから感想を話してもらいましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やはり、自分ができるところを、実際に行うことが必要なんだ。 ・自分たちが分かっているだけでなく、人に広めることも大切だ。 | <p>やすいように家庭・学校・地域の三つの場面を設定し、出された意見をホワイトボードにまとめさせる。</p> <p>※似ている意見やなるほどと思った意見には反応を示しながら聞き合うよう声掛けする。</p> <p>※グループの中で再度意見をまとめさせる。その際、「なるほど」と思った意見、「やっぱりそうじゃない」と思った両者の意見を考える。</p> <p>※ゲストティーチャーに子供たちの発表の良かった点を評価し、価値付けしてもらう。また、子供会や防災訓練など地域行事に参加することや、今回学んだことを多くの人に広めることなど、ゲストの願いも話してもらう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>主体的に学習に取り組む態度 学習したことを生かしてどうしたら自分たちが減災行動に移せるか考え、防災の意識を高めている。</p> <p>【取組への参加・発表】☆☆</p> </div> |
| 10分 | ○本時の振り返りをする。 | 個 ↓ 全 | <p>○学習の振り返りとして、話し合ったことやゲストの皆さんの話を聞いて考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの話から、やはり地域の人と仲良くしていくことは助け合いになると思いました。これから行事も進んで参加したいです。 ・教わったことや学んだことをいろいろな人に伝えていきたい。 | <p>※小単元の学習を始める前と比べて、自分自身の防災への意識がどう変容したのか理由をつけて書くよう声掛けする。</p> |

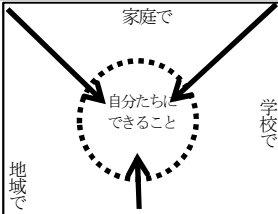
(4) 本時の評価規準

| | |
|-------------|---|
| 具体的評価規準 (B) | 減災に向けて一人一人が防災意識を高める必要性や、地域・社会と連携していく必要性について考えている。 |
| A と判断する姿 | 自助・共助の重要性を理解し、地域社会の一員として、命やくらしを守るために自分に何ができるか考えている。 |
| C への手立て | 振り返りに時間がかかる児童については、良いと思った友達の意見やゲストの方の話を取り上げ、何が良かったのか理由を付けて書かせる。 |

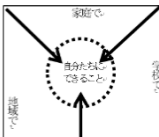
(5) 板書計画

11/15 (金)

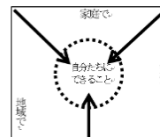
◎地震から命やくらしを守るために自分たちにできることは何だろう。



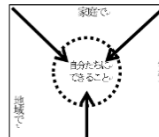
家庭で



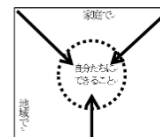
家庭で



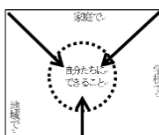
家庭で



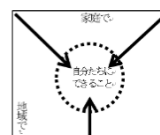
家庭で



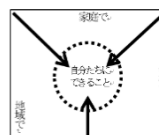
家庭で



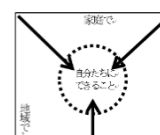
家庭で



家庭で



家庭で



第4学年 社会科学学習指導案

授業者 仙台市立長命ヶ丘小学校
教諭 金光寺 智士

1 小単元名 国際交流に取り組むまち

2 小単元の目標

国際化が進む宮城県の中でも特に、近年急激に在住外国人が増加し、国際交流を進めている塩竈市を例に挙げる。塩竈市の位置や国際交流活動の背景、人々の協力関係などに着目して、宮城県や塩竈市などで発行している資料や取材で撮影した映像資料、地図帳などの資料を使って調べたりして、外国人の増加と塩竈市の人々のまちづくりを関連付けながら塩竈市での国際交流の特色を捉える。そして市役所や国際交流協会、企業などがどのように市内の国際交流を進めているかを考え、表現することを通して、様々な立場の人が協力して多文化共生に努めていることを理解できるようにする。

3 小単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| 官公庁が発行している資料や取材で撮影した映像資料、地図帳などから必要な情報を集め、読み取り、塩竈市での国際交流の特色を理解している。 調べたことを関係図や文などにまとめ、様々な立場の人が協力して多文化共生に努めていることを理解している。 | 塩竈市に住む外国人の生活を支えている存在に着目して、問題を見出している。市役所や国際交流協会、企業などがどのように市内の国際交流を進めているかを考え、表現している。 国際交流の様子と人々のまちづくりを関連付けたり、その関連を図にまとめたりして、国際交流の大切さを考え、表現している。 | 国際交流を進めている塩竈市の様子について予想や学習計画を立て、主体的に学習し、解決しようとしている。 学習した宮城県の特色を基に、宮城県の良さをどのように伝えたいかを考えようとしている。 |

4 小単元について

- 本単元は、新学習指導要領の内容(5)「県内の特色ある地域の様子」を受けて設定している。伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域では「白石市のこけし」、地域及び地域の資源を保護・活用している地域では「松島町の景観」、そして、国際交流に取り組んでいる地域では、「塩竈市」を取り上げる。「いかす」の段階は、3つの小単元を学んだのち、それぞれの小単元を学習した総括として、宮城県の良さをアピールするリーフレットを作成する活動を設定する。本小単元で取り上げる塩竈市では震災や高齢化の影響で、市内で働く外国人が増加しており、それにもなつて国際交流が盛んに行われるようになった。そこで塩竈市で働く外国人技能実習生との交流の様子や、実習生を支援する取組について取り上げ、塩竈市における国際交流に関わる人々の立場ごとに国際交流の意義について考えることを通して、国際交流の重要性を理解させるようにする。
- 本学級は、男子15名、女子12名、計27名の構成である。社会科アンケートでは、ほとんどの児童が、社会科が分かるようになりたいと回答しており、社会科の学習に前向きに取り組んでいる。令和元年度の仙台市標準学力検査の結果を見ると、資料から読み取った内容を生かして想像したり、深めたりする力に課題がみられた。
- 本単元の指導にあたっては、まず、塩竈みなと祭りに参加している外国人に着目させ、在住外国人の生活を考えさせることを通して、塩竈市における国際交流の実態について捉えさせる。次に、小単元の始めに外国人が笑顔で参加していることへの驚きや疑問から学習問題を設定する。それを解決するために、多くの資料の中から自らの考えの根拠となる資料を適切に選択する活動や複数の資料を関連付けて考える活動を多く取り入れることで、児童の持つ社会科に対する前向きな姿勢を生かし、主体的な学習を促すとともに、小単元のねらいに迫っていきたい。

5 小単元構想図（視点との関わり）

小単元名「国際交流に取り組むまち」

目標 国際化が進む宮城県の中でも特に、近年急激に在住外国人が増加し、国際交流を進めている塩竈市を例に挙げる。塩竈市の位置や国際交流活動の背景、人々の協力関係などに着目して、宮城県や塩竈市などで発行している資料や取材で撮影した映像資料、地図帳などの資料を使って調べたりして、外国人の増加と塩竈市の人々のまちづくりを関連付けながら塩竈市での国際交流の特色を捉える。そして市役所や国際交流協会、企業などがどのように市内の国際交流を進めているかを考え、表現することを通して、様々な立場の人が協力して多文化共生に努めていることを理解できるようにする。

主体的・対話的で深い学び

| | 視点1【問いの構成】 | 視点2【学び合い】 | 視点3【★振り返り】 |
|-----|--|--|---|
| つかむ | 「問題を発見する」ための問い ①なぜ笑顔で祭りに参加しているのだろうか。 | | |
| | 学習問題 外国人が増えている塩竈市では、どのようなことが行われているのだろうか。 予想1→②へ 「仕事」 予想2→③へ 「生活」 予想3→④へ 「言葉」 予想4→⑤へ 「交流・イベント」 | | |
| 調べる | 「調べて、知る」ための問い ②塩竈市にはどのような仕事があるのだろうか。 ③だれが生活のルールを教えているのだろうか。 ④だれが日本語を教えているのだろうか。 ⑤塩竈市では他にどのような国際交流が行われているのだろうか。 | 学 予想を解決するための話し合い。 | ★外国人に生活のルールをアドバイスするとしたらどのようなことを伝えるか。 ★自分ならどのような交流をしてみたいか吹き出しに書く。 |
| | 「考えて、分かる」ための問い ⑥塩竈市では、国際交流でどのような取組が行われているだろうか。(本時) | 学 国際交流の意義や大切さを捉えるための話し合い。 | ★塩竈市の国際交流のよさとしてリーフレットに書きたい内容を考える。 |
| いかす | (松島の自然環境について学習したのち、単元全体の「まとめ」と「いかす」を実施) 「社会につながる」問い ①仙台市の取組を調べよう。 ②宮城県の良さを世界にアピールしよう。 | 学 学習した地域と仙台市を比較し、宮城県のよさについての認識を深めるための話し合い。 | ★宮城県を世界にアピールするためにはどうしたらよいと思うか。 |

小単元の終末段階で目指す子供の姿

「わたしは、塩竈市には多くの外国人が住んでいて、国際交流協会やぜんぎょれん食品、地域などが協力して、国際交流を進めようとしていることが分かった。国際交流を進めることで、お互いの文化を知り、相手のことを理解することができるようになって、お互いに笑顔になれる。だから、わたしは、進んで外国人と仲良くなって、自分も相手も協力し合えるように国際交流に関わっていきたい。」

6 小単元の指導計画（7時間扱い）

（子どもを見取る評価の場→☆，子どもの自己評価の場→★）

| 段階 | 時間 | 学習課題 ○学習活動・子どもの反応 | ※留意点・評価 | 資料 |
|-----|----|--|--|--|
| つかむ | 1 | ○ 塩竈みなと祭の様子から，参加している外国人の出身国について知る。 ○ 自分が外国で暮らすことを想像し，どのようなことに困るのか考える。 なぜ笑顔で祭に参加しているのだろうか。 ○ ぜんぎょれん食品の実習生のインタビュー動画を見て，日本での生活が充実していることを知る。 ○ 塩竈市の外国人在住数が増加していることを知り，外国人の生活を支えている存在に着目する。 ○ 予想し，学習計画を立てる。 | ※日本人が踊っている写真と外国人が踊っている写真や動画を比較し，違和感や疑問をもたせる。 ※外国人在住数の増加について塩竈市が2倍に増加していることをおさえる。 | 塩竈祭の様子（写真・動画） 塩竈市の外国人在住数推移グラフ |
| | | 外国人が増えている塩竈市では，どのようなことが行われているのだろうか。 | | ※児童の予想を意図的に分類し，「調べる」の段階につなげる。 |
| 調べる | 2 | 塩竈市にはどのような仕事があるのだろうか。 ○ 塩竈市のホームページを見て，外国人がどのような仕事をしているのか考える。 ○ 外国人技能実習生について知る。 ○ ぜんぎょれん食品の藤代さんのインタビュー動画を見て，塩竈市で働く外国人技能実習生のことや実習生が街の漁業を支えていることを知り，白地図にまとめる。 塩竈市には漁業に関係する仕事が多くある。日本と外国には文化の違いがあり，塩竈市には仕事をするために日本に来た外国人が多く住んでおり，高齢化が進む塩竈市の産業を支えている。 | ※インタビューと塩竈市の人口推移グラフから高齢化が進む塩竈市にとって，外国人技能実習生が貴重な労働力となっていることを，おさえる。 知識・技能 外国人が塩竈市にとって欠かすことのできない存在であることを理解している。 【発言・ノート】☆ | 塩竈市HP インタビュー動画 工場働く外国人の写真 塩竈市の人口推移グラフ |
| | | ○ ぜんぎょれん食品の実習生のインタビュー動画を見て，日本の生活で困ったことについて知る。 ○ インドネシアとの文化の違いを知る。 だれが生活のルールを教えているのだろうか。 ○ 塩竈市における外国人支援の資料から調べる。 ○ 塩竈市における地域の取組をノートにまとめる。 塩竈市に住む外国人は，警察署や消防署，地域の人々から，日本のルールを学び生活している。 | ※インドネシアの宗教や服装などを知り，日本との違いを気付かせる。国旗も紹介する。 ※塩竈市に住む外国人のために，警察署や消防署で行われている支援をおさえる。 | インタビュー動画 外国人向けパンフレット インドネシアの生活（写真） |

| | | | | |
|--|-------------|--|---|--|
| | 4 | <p>だれが日本語を教えているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語教室の存在から安川さんの活動を知る。 ○ 塩竈国際交流協会の安川さんのインタビュー動画を見て、市民団体による外国人との交流の歴史や様子について知り、取組をノートにまとめる。 <p>日本語を勉強することを通して、日本の文化を知り地元の人と交流する国際交流が行われている。</p> | <p>※日本語教室以外にも安川さんが登場してくることから、安川さんが行っている取組について知る。</p> <p>※「国際交流」をおさえる。</p> | <p>新聞記事</p> <p>インタビュー動画</p> <p>交流の写真</p> |
| | 5 | <p>塩竈市では、ほかにどのような国際交流が行われているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 塩竈市における国際交流について調べる。 ○ 調べた交流について紹介し合う。 ○ インタビュー動画から地域の人の思いを知る。 <p>塩竈市に住む外国人が、地域の様々なイベントに参加することで、お互いの文化を知り、地元の人と交流している。国際交流として、観光や技術協力などの様々な取組が行われている。</p> | <p>※どちらかの国の文化を一方向的に伝えるだけでなく、互いに伝え合うことが大切であることをおさえる。</p> <p>※参加者の笑顔にも着目させる。</p> <p>※タブレットを活用した調べ学習を行う。</p> | <p>国際交流に関する資料</p> <p>インタビュー動画</p> |
| ま と め る | 6 (本時) | <p>塩竈市では、国際交流でどのような取組が行われているだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 黒板に外国人実習生の笑顔の写真を中心として、その周りに外国人を笑顔にするための取組を書く。 ○ 国際交流に関わる塩竈市の人々の笑顔の写真を見て、笑顔の理由を考える。 ○ 交流会に参加した地域の人たちのインタビュー動画を見て、国際交流はなぜ大切なのか考える。 ○ 塩竈市の国際交流に関する取組の中で、リーフレットに載せたい取組とその理由を書く。 <p>塩竈市では、外国人と地域の人たちが、たがいのことを理解し、支え合う関係を築く取組が行われている。</p> | <p>※塩竈市の取り組みによって外国人も地域住民もお互いに理解し合っ て生活できていること をおさえる。</p> <p>知識・技能 外国人と共に暮らすために、互いに理解し 合い、支え合う関係を 築くことが大切である ことを理解している。</p> <p>【発言・観察・ノート】</p> | <p>笑顔の写真</p> <p>インタビュー 動画</p> |
| 本小単元終了後、松島の自然環境について学習したのち、単元全体の「まとめ」と「いかす」を実施 | | | | |
| (ま と め る ②) | 1 ・ 2 | <p>仙台市の取組を調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 仙台市の外国人在住状況から今後仙台にも外国人居住者が増えるという見通しを持つ。 ○ 仙台市における伝統的な産業、自然、国際交流について、グループごとに調べる。 ○ 仙台市とこれまで学習してきた都市との取組を表にまとめる。 | <p>※既習事項と仙台との比較を通して、宮城県や仙台市の良さに気付かせる。</p> | <p>仙台市外国人国籍一覧</p> <p>キッズ外務省世界の国々HP</p> |
| (い か す) | 3 ・ 4 | <p>宮城県を全国にアピールしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮城県を訪れた人に向けて、宮城県の良さをアピールするためのリーフレットを作成する。 | <p>※宮城県を訪れた人を対象とする。</p> <p>主体的に取り組む態度 学習したことを生かそうとする。【取組への参加・発表】☆☆</p> | <p>これまでの小単元で作成した掲示物</p> |

7 本時の指導 (6/6)

(1) 本時のポイント

本時では、〈視点2〉に関連し、「まとめ」の段階を行う。始めに、塩竈市における国際交流の取組について、それぞれの立場から国際交流の取組が行われ、それぞれの活動が共に外国人を支えていることを整理する。次に、外国人と地域に住む日本人の双方が笑顔になっていることから、互いに理解し合い、支え合う関係を築くことの大切さに気付かせ、国際交流を行うことの意義について迫っていく。最後に、振り返りとして、宮城県の良さを発信するリーフレットに書く塩竈市の国際交流の取組を、選んだ理由とともに書かせることで、小単元のまとめとする。

(2) ねらい

塩竈市における国際交流の取組をまとめ、外国人と地域住民の立場から交流の意義やその大切さを考えることを通して、外国人と共に暮らすために、互いに理解し合い、支え合う関係を築くことが大切であることを理解することができる。

(3) 学習過程

(子どもを見取る評価の場→☆, 子どもの自己評価の場→★)

| 時間 | 学習活動 | 学習形態 | ○発問 ●指示 ・児童の反応 | ※留意点 資料 □評価 |
|---|-------------------------------------|-----------------------|--|---|
| 2分 | ○塩竈市における国際交流の取組について、振り返る。 | 全 | ●ノートや掲示を見て、これまでの学習を思い出そう。 ・国際交流協会があった。 ・ぜんぎょれん食品という会社があったね。 | ・塩竈みなと祭の様子 ※教室内の掲示を示しながら、これまでの学習を振り返る。 |
| 塩竈市では、国際交流でどのような取組が行われていたのだろうか。〈視点2〉 | | | | |
| 10分 | ○塩竈市における国際交流の取組について、発表し合う。 | 全 | ○塩竈市では外国の人が笑顔になるために、どのようなことが行われていたかな。 ・ポットラックパーティで交流していた。 ・警察の人が生活のルールを教えていた。 ・職場で交流会が行われていた。 | ・外国人の笑顔の写真 ※教室掲示やノートなどから、既習事項の内容を確認し、自分の意見を持たせるようにする。 ※児童の発言を「地域」「国際交流協会」「ぜんぎょれん食品」の3つの立場に分類しながら板書していく。 ※関係性をまとめた図を円で囲む。 |
| 10分 | ○国際交流に関わる塩竈市の人々の笑顔の写真を見て、笑顔の理由を考える。 | 全 ↓ 個 ↓ 全 | ○塩竈市の国際交流に関わっている人たちも笑顔なのはどうしてなのかな。 ・交流会で外国の人のことがよく分かって、うれしかったから。 ・交流協会の人、外国の人と地域の人との間で関係を築くことができうれしかった。 ・ぜんぎょれん食品の人たちは、働いてもらって助かっていた。 | ・3つの立場ごとの笑顔の写真 ※それぞれの関係性を示す笑顔の写真を貼り、塩竈市の様々な取組は、外国人と地域の人、どちらの笑顔にもつながっていることを確認する。 ※関係をまとめた図を見ながら、考えを出し合い、共有する。 ※努力を要する児童への指導・支援の手立て…教室掲示の既習事項から、それぞれの取組における外国人と地域の人との関わりを一つひとつ確認しながら、どの活動でも双方にメリットがあることに気付かせる。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|--|
| 15分 | ○自分の考えをノートに書く。 ○隣同士で考えを紹介し合う。 ○考えを発表する。 ○交流会に参加した地域の人のインタビュー動画を見る。 ○まとめる。 | 全 ↓ 個 ↓ ペア ↓ 全 個 | ○外国の人と地域の人たちが共に笑顔で暮らすために大切なことはどんなことだろう。 ・人と人とのつながりかな。 ・お互いを知り、理解すること。 ・お互いのことを大切に思うことじゃないかな。 ○まとめの空欄に入れたらよい言葉を考えてみよう。 | ※ノートに自分の考えを書かせ、ペア学習により考えを深めさせる。 ※外国の人と共に暮らすために大切にしたい方がよいことが行われていることが、塩竈市の国際交流における特色であることを確認する。 |
| | 3分 | | | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 知識・技能 外国人と共に暮らすために、互いに理解し合い、支え合う関係を築くことが大切であることを理解している。【発言・観察・ノート】☆ </div> |
| 塩竈市では、外国の人と地域の人たちが、たがいのことを理解し、支え合う関係を築くことを大切にした国際交流の取組が行われている。 | | | | |
| 5分 | ○本時の学習を振り返り、リーフレットに載せたい内容を書く。 | 全 | ●塩竈市の国際交流に関する取組の中で、リーフレットに載せたい取組とその理由を書きましょう。 ・交流イベントがたくさんあること。理由は、お互いのことを知る交流が一番大切だと感じたから。 | ※宮城県の良さを伝えるリーフレットに、塩竈市の国際交流の良さについて紹介すること、選んだ理由も書くことを確認する。 |

(4) 本時の評価規準

| | |
|-------------|--|
| 具体的評価基準 (B) | 外国人と地域住民の立場から国際交流の意義やその大切さを考えることを通して、外国人と共に暮らすために、互いに理解し合い、支え合う関係を築くことが大切であることを理解している。 |
| A と判断する姿 | 外国人と地域住民の立場から国際交流の意義に関心を持ち、その大切さについて主体的に考え、外国人と共に暮らすために、互いに理解し合い、支え合う関係を築くことが大切であることを理解している。 |
| C への手立て | それぞれの取組における外国人と地域の人との関わりを一つひとつ確認しながら、どの活動でも双方にメリットがあることに気付かせる。 |

(5) 板書計画

塩がま市では、国際交流でどのような取組が行われていたでしょうか。

```

graph TD
    Center((笑顔)) --- Community(地域)
    Center --- ICA(国際交流協会)
    Center --- Exchange[仕事生活のしえん交流会]
    Center --- Food(ぜんぎょれん食品)
    Community --- Events[成人式 ひな祭り みなと祭 生活のルール]
          
```

外国人と地域の人たちが共に笑顔で暮らすために大切なこと

- ・人と人とのつながり
- ・おたがいを知り、理かいること。
- ・相手を大切に思うこと。

➡ 塩がま市の国際交流

塩がま市では、外国の人と地いきの人たちが、(たがいのことを理かいるし、ささえ合う関係をきずくこと) を大切にした国際交流の取組が行われている。

塩がま市ではさまざまな人たちが協力して、外国の人たちを支えている。

第5学年 社会科学学習指導案

授業者 仙台市立北六番丁小学校

教諭 星 博子

1 小单元名 「情報を生かして発展する産業」コンビニエンスストアでの情報活用

2 小单元の目標

情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめ、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解できるようにする。

3 小单元の評価規準

| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 主体的に取り組む態度 |
|--|---|--|
| 情報の種類、情報の活用の仕方などについて、聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、産業における情報活用の現状を理解している。 調べたことを文などにまとめ、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解している。 | 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、問いを見いだし、産業における情報活用の現状について考え表現している。 比較・関連付け、総合などして、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考えたり、学習したことを基に社会への関わり方を選択・判断したりして適切に表現している。 | 我が国の産業と情報との関わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。 |

4 小单元について

- 本单元は、新学習指導要領第5学年の内容(4)にあたり、情報や情報通信技術を活用する産業について、情報の種類、情報の活用の仕方などに着目し、学習の問題を追究・解決する活動を通し、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解する单元である。具体的には、取材や調べ学習を通して産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することで、情報を活用した産業や国民生活の変化について理解することができる单元である。
- 本学級33名の児童は、日々の生活で天気予報から気象情報を得たり、必要な情報をインターネットで検索したりするなど、情報や情報通信技術が常に身近にある環境で生活している。児童は、生活の中で当たり前のように情報を活用しているが、具体的な情報の種類や活用の仕方、情報活用によって生活が便利になってきたことなどについては、十分に理解しているとは言えない。社会科の学習では、ニュースや社会の出来事に対して関心が高く、疑問を持って学習に取り組む。しかし、資料から事実を読み取ることはできるが、読み取ったことを基に考えたり、自分の言葉で表現したりすることを苦手とする児童が多い。
- 本小单元の指導にあたり、情報を活用する産業として販売業を扱い、コンビニエンスストアを事例として取り上げる。コンビニエンスストアは、顧客情報や気象情報といった情報を活用したり、情報通信技術を活用して様々なサービスを提供したりすることで、大きく発展してきた。また、学区内にはコンビニエンスストアが複数あり、児童にとって身近なものであることから、コンビニエンスストアの発展によって、私たちの生活がより便利になってきたことが理解しやすいと考える。
「つかむ」段階では、様々な情報活用の場面を提示したり、コンビニエンスストアでの買い物の様子を動画で見せたりすることで、情報が自分たちの身近なところでたくさん使われていることに気付かせる。また、コンビニエンスストアの店舗数の変化を示したグラフを提示することで、店舗数の伸びと情報活用が関係しているのではないかという児童の疑問を取り上げて学習問題を立てる。「調べる」段階では、各時間ごとに資料やコンビニエンスストアの店長の話、保護者の話などから読み取ったことや分かったことを図表に表現させることで、興味・関心を持たせながら社会的事象と関連付けて考えることができるようにしたい。「まとめる・いかす」段階では、コンビニエンスストアの情報活用と自分たちの生活との関りについて学習してきたことを基に考え自分の言葉で説明することで、大量の情報や情報通信技術の活用による産業の発展と、自分たちの生活の利便性の向上を関連付け、自分事として情報化社会について考えることができるようにしていきたい。

5 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた小単元構成と視点との関わり

単元名「情報を生かして発展する産業」

目標 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめ、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解できるようにする。

主体的・対話的で深い学び

| | 視点1【問いの構成】 | 視点2【学び合い】 | 視点3【★振り返り】 |
|-----|---|---|---------------------------------|
| つかむ | 「問題を発見する」ための問い ① どんなどころで情報が活用されているのだろう。 学習問題を作り、計画を立てよう。 | | ★学習前の情報に対する自分のイメージは？ |
| | 学習問題 コンビニエンスストアなどの販売業は、何のために情報を活用し、どのような私たちの生活と関わっているのだろうか。 | | |
| 調べる | 「調べて、知る」ための問い ② コンビニエンスストアでは、どのように情報を活用しているのだろうか。 ③ コンビニエンスストアでは、情報通信技術を活用し、どのようにサービスを広げているのだろうか。 | 予想1→②へ「情報活用」 予想2→③へ「サービスの広がり」 学 産業が情報を活用することによる、販売者と消費者との利点を関連付けるための話し合い | |
| | 「考えて、分かる」ための問い ④ コンビニエンスストアの情報活用について分かったことをまとめ、私たちの生活との関わりを考えよう。(本時) | 学 販売業の発展と国民生活の向上を関連付けるための話し合い | ★学習を通して見えた産業の発展と国民生活の向上とのつながりは？ |
| いかす | 「社会につながる」問い ⑤大量の情報や情報通信技術の活用によって、産業や私たちのくらしはどのように変わってきたのだろうか。 | 学 産業に情報が活用されることの良い点と、心配な点について関心を持たせるための話し合い | |

小単元の終末段階で目指す子供の反応

「コンビニエンスストアなどの販売業は、集めた情報を活用して、商品の売り方やサービスの工夫をすることで発展してきた。消費者にとっても、必要な時に必要なものやサービスを手に入れることができるようになり、生活が便利になった。情報や情報通信技術を活用し様々な産業が発展することによって、私たちの生活もより便利になるので、情報は良いところが多い。しかし、使い方などに注意が必要なことに気をつけたい。

6 小単元の指導計画 (5 時間扱い)

(子どもを見取る評価の場→☆, 子どもの自己評価の場→★)

| 段階 | 時間 | 学習課題 ○学習活動 ・子どもの反応 | ※留意点 評価 | 資料 |
|-----|----|--|--|---|
| つかむ | 1 | <p>どんなどころで情報が活用されているのだろう。</p> <p>○生活の中で情報が使われている場面について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書の貸し出しでは、借りた冊数や本の名前が分かる。 ・ インターネットで買い物をしたことがある。 ・ コンビニでカードを使って買い物をしているよ。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">様々な場所で情報や情報通信技術が使われており、私たちの生活の中で欠かせないものになっている。</p> <p>○コンビニエンスストアでの情報活用について学習問題を立て、それに対する予想をする。</p> | <p>※情報活用に関わる写真を提示し、身近な場所で情報が活用されていることに気付かせる。</p> <p>※コンビニ店舗数の変化のグラフを読み取り、情報との関わりを予想させる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 主体的に取り組む態度 様々な産業で情報を活用していることに関心を持ち、コンビニエンスストアでの情報の活用について知りたい、調べたいとする意欲をもつ。【発言・観察】☆ </p> | <p>図書室の写真 コンビニにある機械の写真 電子マネーのカード</p> <p>コンビニエンスストアの写真 コンビニエンスストア店舗数のグラフ</p> |
| | | <p>コンビニエンスストアなどの販売業では、何のために情報を活用し、どのように私たちの生活と関わっているのだろうか。</p> | <p>・ インターネットを使って商品を仕入れていると思う。→「情報活用」</p> <p>・ 店にある機械で何かを申し込んだことがある。これも関係あるのかな。→「サービスの広がり」</p> | <p>※コンビニの情報活用について知っていることをワークシートに書かせる。</p> |
| 調べる | 2 | <p>コンビニエンスストアでは、どのように情報を活用しているのだろうか。</p> <p>○コンビニエンスストアでは、どのような情報を集めているのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いつ、何が、いくつ売れたのか記録している。 ・ お店のある地域の行事なども調べている。 <p>○コンビニエンスストアでは、どのように情報を集めているのか理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バーコードで読み取っていると思う。 <p>○コンビニエンスストアでは、集めた情報をどのように使っているのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よく売れている商品が分かるので、仕入れるときに活用する。 ・ 地域にあった商品を仕入れるようにする。 <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">コンビニエンスストアでは、お客さんや気象、地域のことなど大量の情報を集めて、たくさん商品を売るために活用している。</p> <p>○分かったことを表にまとめる。</p> | <p>※予想を出させた後、コンビニエンスストアの店長さんから話を聞く。</p> <p>※バーコードやPOSシステムを活用して情報を集めていることをおさえる。</p> <p>※地域や時期が異なる店舗の写真を提示し、集めた情報を活用していることに気付かせる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 知・技 コンビニエンスストアでは、集めた情報をどのように活用しているのかを調べ、消費者に合った商品を仕入れていることを理解している。【発言・ノート】☆ </p> | <p>POSシステムの資料 コンビニエンスストア店内の写真</p> <p>店長の話</p> |

| | | | | |
|------|-----------|---|---|---|
| | 3 | <p>コンビニエンスストアでは、情報通信技術を活用して、どのようにサービスを広げているのだろうか。</p> <p>○普段、自分や家族はコンビニエンスストアでどんなサービスを利用しているか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの試合のチケットを買ったことがある。 ・お金をおろしたことがある。 <p>○コンビニエンスストアを利用する人は、どんなことに情報通信技術を活用しているか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その場で申し込んで商品を買うことができる。 ・公共料金を支払うことができる。 <p>○情報活用が十分に行われていなかった頃と現在を比較し、コンビニエンスストアのサービスの広がりについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物を売るだけではなく、いろんなサービスを受けることができるようになった。 ・昔はそれぞれ違う場所に行っていたけれど、今はコンビニエンスストアだけで用を済ませることができる。 ・情報通信技術で、コンビニエンスストアは、他の産業とつながっている。 <p>情報通信技術の活用によって、コンビニエンスストアは、様々なサービスを提供することができるようになった。</p> | <p>知・技</p> <p>コンビニエンスストアは、他の産業と連携し、サービスを広げていることを理解している。 【発言・ノート】☆</p> <p>※保護者に、コンビニエンスストアのサービスについて、それぞれ聞いてくるようにする。</p> <p>※情報通信技術の活用によって、消費者は時間や場所を気にせず、必要な時にすぐサービスを受けられるようになったことを押さえる。</p> <p>※学習を通して分かったことを表にまとめさせる。</p> | <p>コンビニエンスストア利用者の話 情報端末機の写真 保護者の話（インタビュー）</p> |
| まとめる | 4 (本時) | <p>コンビニエンスストアの情報活用について分かったことをまとめ、私たちの生活との関わりを考えよう。</p> <p>○学習を振り返り、コンビニエンスストアがどのように情報を活用しているのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店は集めた情報を、商品をそろえるときに使っていた。 ・情報通信技術を使って、他の産業ともつながって様々なサービスを行っている。 <p>○情報活用による販売業の発展と、自分たちの生活の関わりについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を活用することで、私たちの生活も便利になった。 <p>コンビニエンスストアなどの販売業は、集めた情報を活用し、消費者の願いに合った商品やサービスを提供することで発展してきた。そのおかげで、私たちの生活も便利になってきた。</p> | <p>※1時間目の予想や前時までのまとめを振り返らせ、考えるようにする。</p> <p>※情報の活用によって産業が発展したことを押さえる。</p> <p>思・判・表</p> <p>情報化による産業の発展と国民生活の向上を関連付けて考え、図や言葉で適切に表現している。 【発言・ノート】☆☆</p> | |
| いかす | 5 | <p>大量の情報や情報通信技術の活用によって、産業や私たちのくらしはどのように変わってきたのだろうか。</p> <p>○他の産業の情報活用について、販売業と比較しながら調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業や水産業でも情報を活用していた。 ・バスや地下鉄は同じカードで乗ることができる。販売業と同じで、便利になった。 <p>情報の活用によって多くの産業が発展し、私たちの生活は便利になった。</p> | <p>主体的に取り組む態度</p> <p>様々な産業の情報活用による発展と国民生活との関わりやこれからの自分の生活について考えようとしている。 【発表・ノート】☆☆</p> <p>※情報の扱いに関する考えを取り上げ、次の単元につなげる。</p> | <p>他産業の情報活用場面の写真</p> |

| | | | |
|-----|---|-----|---|
| | ㊦ コンビニエンスストアなどの販売業は、集めた情報を活用し、消費者の願いに合った商品やサービスを提供することで発展してきた。そのおかげで、私たちの生活も便利になってきた。 | | |
| 10分 | ○本時の振り返りをする。 | 個↓全 | ●学習の振り返りを書きましょう。 ・販売業は、集めた情報を自分たちの仕事に生かすだけではなく、他の産業ともつながってサービスを広げていることが分かりました。 ・情報化によって販売業が発展していくと、私たちの生活も便利になっていくことが分かりました。 ※1時間目に取り上げた他の産業の情報活用に目を向けさせることで、次時への学習の意欲を高める。 ※大量の情報の活用による利点だけではなく、課題を考えている児童がいたときは、取り上げるようにする。 |

(4) 本時の評価規準

| | |
|-------------|--|
| 具体的評価規準 (B) | 学習したことをもとに、情報や情報通信技術の活用により販売業が発展したことで国民生活が向上したことを、自分なりの表現方法で説明している。 |
| A と判断する姿 | 情報や情報通信技術の活用による販売業の発展と国民生活との関わりについて、販売業や消費者の立場、友達の意見などを踏まえて考え、根拠や理由を明確にして自分の考えを説明している。 |
| C への手立て | 販売業の発展と国民生活を関連付けられない児童については、情報活用が十分ではない頃と現在のコンビニエンスストアの違いに着目させ、自分たちの生活がどう変化したのか考えさせる。 |

(5) 板書計画

コンビニエンスストアの情報活用について分かったことをまとめ、私たちの生活との関わりを考えよう。

| | | |
|---|--|--|
| <p style="text-align: center;">コンビニエンスストアと情報活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報活用によって売り上げが伸びた。 ・いろいろなことを一つの店でできるようになった。 ・他の産業とつながった。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">はん売業が発展</p> | | <p style="text-align: center;">私たちの生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも、どこでも、サービスを受けられる。 ・便利になった。 ・生活に役立つことが多い。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">便利になった</p> |
|---|--|--|

㊦ コンビニエンスストアなどの販売業は、集めた情報を活用し、消費者の願いに合った商品やサービスを提供することで発展してきた。そのおかげで、私たちの生活も便利になってきた。

第5学年 社会科学学習指導案

授業者 仙台市立長命ヶ丘小学校
教諭 井上 庸介

1 小単元名 情報をいかして発展する産業 「観光業で見られる情報活用」

2 小単元の目標

我が国の産業と情報の関わりについて、情報の種類、情報の活用の仕方に着目して、聞き取り調査をしたり、インターネットサイトやパンフレットなどの各種資料で調べたりすることで、観光業における情報活用の現状を捉えるとともに、情報を生かして発展する観光業が国民生活に果たす役割を考え表現することを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は、観光業を発展させ、国民生活の利便性を向上させていることを理解できるようにする。

3 小単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| 情報の種類、情報の活用の仕方に着目して、聞き取り調査をしたり、ホームページやパンフレットなどの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、産業における情報活用の現状を理解している。 調べたことをノートや関係図にまとめ、大量の情報や情報通信技術の活用は、観光業を発展させ、国民生活の利便性を向上させていることを理解している。 | 情報の種類、活用の仕方などに着目して、問いを見出し、産業における情報活用の現状について考え、表現している。 情報を活用した観光業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付け、それらが国民生活に果たす役割を考える。また、学習したことを基に、社会への関わり方を観光業と国民の立場から多角的に考え、情報化の進展に伴う観光業の発展や国民生活の向上について、自分の考えをまとめている。 | 我が国の産業と情報との関わりについて予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習を追究し、解決しようとしている。 学習したことを基に、社会への関わり方を観光業と国民の立場から多角的に考え、情報の活用による観光業の発展や国民生活の向上について、自分の考えをまとめようとしている。 |

4 小単元について

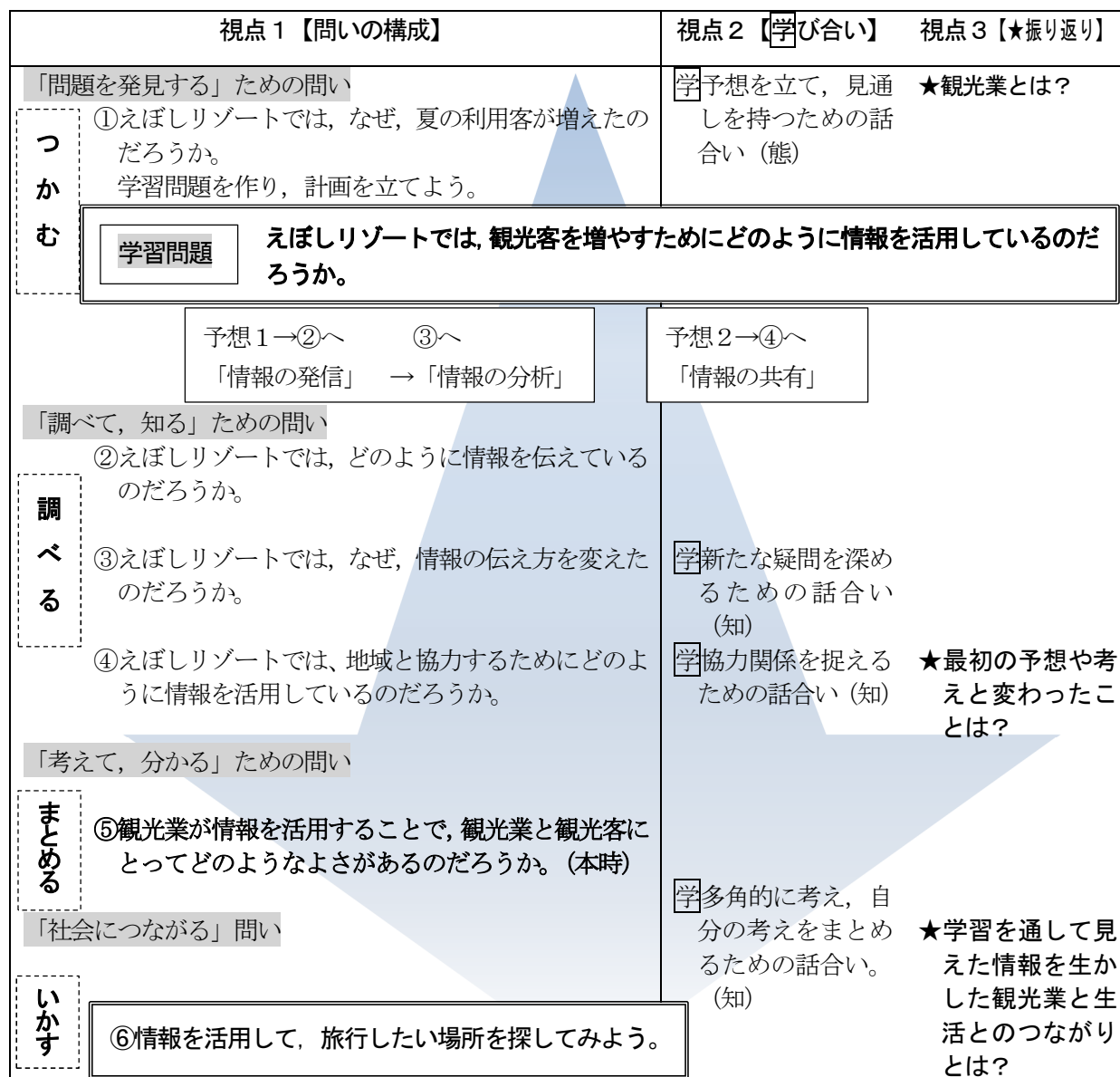
- 本単元は、新学習指導要領（4）の「我が国の産業と情報との関わり」に関する内容で構成したものである。これは「大量の情報や情報通信技術の活用は、産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解すること」をねらいとしている。
本単元では、情報を活用している産業として観光業である「えぼしリゾート」を取り上げる。「えぼしリゾート」では、観光客の減少に歯止めをかけるべく、ホームページの閲覧情報を分析して情報を発信したり、地域（蔵王町）と一体となって情報を発信したりしている。スキー場の情報活用について具体的に調べることで、情報活用による産業の発展と国民生活の利便性の向上を理解することができると考えている。
- 本学級の児童は、事前のアンケートで、社会科の学習が好きな児童が8割を超え、社会科が役に立つと答えた児童が9割を超えている。これらのことから、社会科の学習の有意義さを感じて学習を進めてきたことが分かる。社会科に関連した自主学習に取り組む児童も多く、社会科に主体的に取り組んでいる。
- 本小単元の指導にあたっては、観光業の発展と国民生活との関わりを明確にすることが必要であるため、「つかむ」段階では、観光業の全体像を捉え、スキー場の利用客減少と夏営業の利用客増加から学習問題を設定する。その際は、ホームページの資料を限定的に提示し、情報の活用に着目させる。「調べる」段階では、宣伝（情報の発信）の裏に、情報の分析があることを調べ、さらに、地域全体で情報を共有し、発信していることに気付いていく。「まとめる」段階では、産業側の視点だけでなく、国民側の視点に立ち、2つの立場から考えることで情報を活用して発展した産業と国民生活の関わりに迫っていく。「生かす」段階では、実際に情報を活用して、旅行の計画を立てることで情報活用の良さを実感させたい。

5 小単元構想図（視点との関わり）

単元名 「情報を生かして発展する産業」

目標 我が国の産業と情報の関わりについて、情報の種類、情報の活用の仕方に着目して、聞き取り調査をしたり、インターネットサイトやパンフレットなどの各種資料で調べたりすることで、観光業における情報活用の現状を捉えるとともに、情報を生かして発展する観光業が国民生活に果たす役割を考え表現することを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は、観光業を発展させ、国民生活の利便性を向上させていることを理解できるようにする。

主体的・対話的で深い学び



小単元の終末段階で目指す子供の姿

「観光業では、情報を様々な形で発信したり、客のニーズを分せきしたりして情報を活用することで、時間や労力を節約できるようになり、その分観光客によりよいサービスを提供できるようになった。そのおかげで、私たちは、インターネットでいつでもどこでも情報を集めることができるようになったり、より多くの対象から行ける場所を選べるようになったりしたことで生活が豊かになった。今度、旅行するときには、親と一緒に情報を活用して、行く場所を決めたり、行き方を考えたりしたい。

6 小単元の指導計画（6時間扱い）

（子供を見取る評価の場→☆，子供の自己評価の場→★）

| 段階 | 時間 | 学習課題 ○学習活動 ・子供の反応 | ※留意点 評価 | 資料 |
|-----|----|---|---|--|
| つかむ | 1 | <p>○ 観光業に関わる人々について考える。 ・ レジャー施設 ・ホテルの人 ・飲食店</p> <p>○ えぼしリゾートでは、スキー客が減っているが、ナイトゴンドラの利用人数が4倍になっていることをグラフから気付く。 ・ 夏にもイベントをしている。 ・ 何か取組をしたのかな。</p> <p>○ ホームページで調べる。 ・ インターネットで予約ができる。 ・ お釜のライブカメラがある。</p> | <p>※雇用者の生活をささえていることも捉えられるように発問する。</p> <p>主体的に取り組む態度 観光業における情報の活用について生活経験や観光業の現状から予想し、意欲的に考えようとしている。【発言・観察・ノート】☆</p> | <p>観光業に携わる人々の写真</p> <p>えぼしリゾートリフト券発券数 ナイトゴンドラ利用人数 ホームページ</p> |
| | | <p>えぼしリゾートでは、観光客を増やすためにどのように情報を活用しているのだろうか。</p> <p>○ 学習問題について予想し、学習計画を立てる。 ・ 宣伝，インターネット予約→情報の発信 ・ 地域と協力→情報の共有</p> | | |
| 調べる | 2 | <p>えぼしリゾートでは、どのように情報を伝えているのだろうか。</p> <p>○ 資料で調べる。 ・ ラジオ ・S-Style（雑誌） ・ エコファミリー新聞（新聞） ・ ホームページ（ウェブサイト）</p> <p>○ 誰に伝えようとしているのでしょうか。 ・ ファミリー層 ・子供</p> <p>えぼしリゾートでは、ホームページを見やすくしたり、ラジオや新聞、雑誌で情報を伝えたりすることで観光客を増やしている。</p> | <p>※自分たちの生活と関連付ける切り返しの発問をする。</p> <p>知識・技能 ホームページやパンフレットから、情報活用の現状を読み取ることができる【ノート】☆</p> | <p>学習掲示 ホームページ 雑誌 新聞 ラジオ放送</p> |
| | | <p>えぼしリゾートでは、なぜ、情報の伝え方を変えたのだろうか。</p> <p>○ 事業推進室の秋保さんの話を聞いて、情報を分析していることを知る。</p> <p>○ どんな情報を集めているのかを資料から調べる。 ・ 場所 ・時間 ・端末 ・年齢 →個人情報</p> <p>えぼしリゾートでは、大量の情報を分析して、来てほしい客に合わせて情報の発信方法を変えている。</p> <p>○ 2時，3時の学習活動で見つけた観光業が情報を活用することの良さを付箋に書きまとめる。</p> | <p>※なぜ、ファミリー層に対して宣伝をしたのかに着目させる。</p> <p>知識・技能 話や写真から、情報活用の現状を読み取ることができる【ノート】☆</p> | <p>事業推進室 秋保さんの話</p> <p>分析画面</p> |

| | | | | |
|------|-----------|---|---|---------------------|
| | 4 | <p>えぼしリゾートでは、地域と協力するためにどのように情報を活用しているのだろうか。</p> <p>○ インターネットでリンクを調べる。 ・蔵王町 ・観光物産協会 ・蔵王ハイライン（御釜） ・遠刈田温泉</p> <p>えぼしリゾートでは、ホームページをリンクさせるなどイベント情報を共有して、地域が一体となって発信している。</p> <p>○ 観光業が地域と協力するために情報を活用することの良さを付箋に書きまとめる。</p> | <p>思考・判断・表現 情報の種類・活用の仕方などに着目して、えぼしリゾートと地域の協力関係を考えられている。</p> <p>【ノート】☆</p> | ホームページ |
| まとめる | 5 (本時) | <p>○ これまでの学習を関係図にまとめたものを見て、学習を振り返る。</p> <p>観光業が情報を活用することで、観光業と観光客にとってどのようなよさがあるのだろうか。</p> <p>○ 観光業側にとっての情報活用のよさを全体で共有する。 ○ 観光客側にとっての情報活用のよさを考え、グループで考える。 ○ 全体で共有する。 ○ 自分の言葉で、学習問題に対してまとめる。</p> <p>観光業では、発信したり、分せきしたりして情報を活用することにより、観光客によりよいサービスを提供できるようになった。そのおかげで、わたしたちの生活は豊かになった。</p> | <p>※よさは、産業側だけではないことに着目させる。</p> <p>知識・技能 情報活用は、観光業を発展させ、国民生活の利便性を向上させていることを理解している。</p> <p>【ノート】☆</p> | これまでの学習の掲示 |
| 生かす | 6 | <p>情報を活用して、旅行したい場所を探してみよう。</p> <p>○ 「宮城観光 navi」のホームページから、県内で1番行きたい場所を見つける。 ○ その周辺で、行きたい場所を2～3か所選んで、旅行の計画を立てる。 ○ 計画を発表する。 ○ 単元の学習を振り返る。</p> <p>今度、旅行するときには、親と一緒に情報を活用して、行く場所を決めたり、行き方を考えたりしたい。</p> | <p>思考・判断・表現 情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について、自分の考えを適切に表現している。</p> <p>【ノート】★</p> <p>主体的に取り組む態度 学習をもとに社会への関わり方を考えようとしている。【発言・観察・ノート】★</p> | 宮城観光 navi ワークシート |

7 本時の指導（5/6）

（1）本時のポイント

本時では、〈視点2〉に関連し、「まとめる」の段階において、観光業が情報を活用したことのよさをヒントに自分たちに与える影響を考える。話し合いを通して、たくさんの情報をいつでも集めたり、ウェブ上で簡単に予約ができたりすることでわたしたちの生活が便利になったことを捉えさせたい。

（2）ねらい

・情報を活用した産業の変化や発展と、人々の生活の利便性の向上を関連付けて考えることで、大量の情報や情報通信技術の活用は、観光業を発展させ、国民生活の利便性を向上させることを理解することができる。（知識・技能）

（3）学習過程

（子供を見取る評価の場→☆，子供の自己評価の場→★）

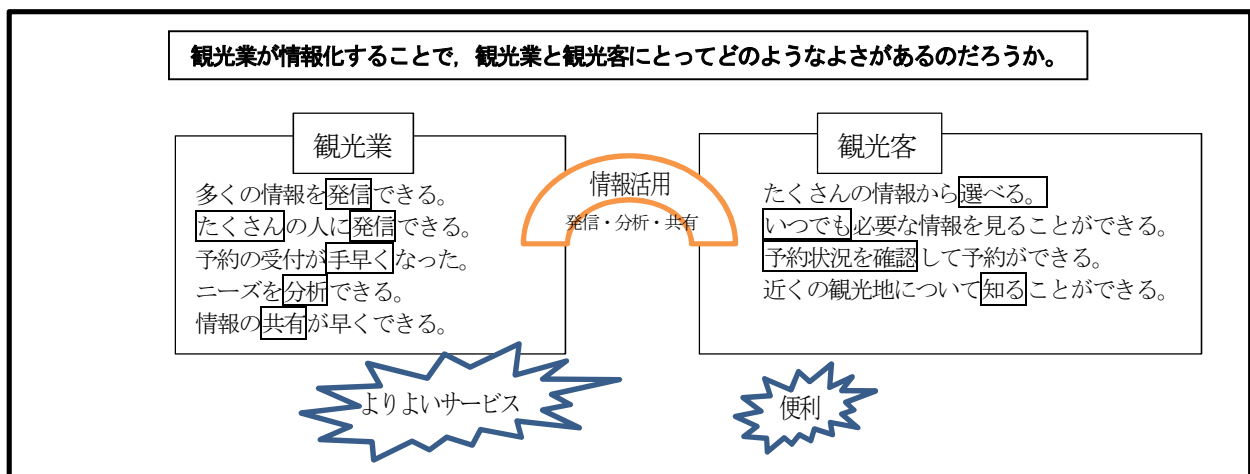
| 時間 | 学習活動 | 学習形態 | ○発問 ●指示 ・児童の反応 | ※留意点 資料 □評価 |
|---|---|------|--|---|
| 5分 | ○前時までを振り返り、情報の種類やキーワードを確認する。 ○誰にとってよさがあったのかを考える。 | 全 | ●学習問題を振り返ると、それぞれの取組の裏に、情報の活用がありましたね。 ○どんな情報の活用がありましたか。 ・情報の分析（個人情報） ・情報の発信（イベント・天気） ・情報の共有（イベント） ○情報を活用することで、どんな人によいことがありましたか。 ・地域，蔵王町→観光業 ・わたしたち→観光客 | 学習履歴の揭示・関係図 ※情報の活用だけではなく、どんな情報を活用していたかを聞き返す。 ※様々な視点で出てきたものを2つに分類する。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 観光業が情報を活用することで、観光業と観光客にとってどのようなよさがあるのだろうか。〈視点2〉 </div> | | | | |
| 10分 | ○個人で授業の最後に書き溜めていた観光業側のよさを全体で共有する。 | 全 | <u>観光業</u> ・多くの情報を発信できる。 ・たくさんの人に発信できる。 ・予約の受付が手早くできる。 ・ニーズを分析できる。 ・情報の共有が早くできる。 | 学習履歴の揭示 ※発言を分類して板書する。 情報量・発信量 人件費削減・ニーズの分析 情報の早さ など |
| 3分 | ○観光業が情報を活用することによってのよさをまとめる。 | 全 | →時間が有効に使える →よりよいサービスを考える | ※そのよさをどのような方向に生かすことができるのか捉えさせる。 |
| 8分 | ○観光業側のよさをヒントに自分たち（観光客）に与える影 | 個 | <u>観光客</u> ・たくさんの情報から選べる。 ・いつでも見ることができる。 ・予約状況を確認して予約ができる。 | |

| | | | | |
|----|----------------------------------|---|---|--|
| 6分 | 響を考える。 ○観光客にとっての情報活用のよさを発表する。 | 全 | ・近くの観光地について知ることができる。 〈キーワード〉 ・選びやすい ・いつでも | ※発言を産業側とできるだけ対応するように分類して板書する。 |
| 3分 | ○観光客にとっての情報活用のよさをまとめる。 | 全 | ○情報を活用できるようになったことでわたしたちの生活はどのようになりましたか。 ・便利 ・豊かに | ※「つまり…」「ズバリ言うと…」 どういう言葉になるのかを考えさせ、抽象化に導く。 |
| 5分 | ○学習問題に対するまとめを個人で書く。 | 個 | 観光業では、情報を活用することにより、観光客によりよいサービスをできるようになった。そのおかげで、わたしたちの生活は便利になった。 | 知識・技能 大量の情報や情報通信技術の活用は、観光業を发展させ、国民生活の利便性を向上させることを理解している。【ノート】 |
| 5分 | ○個人のまとめを発表し、整理する。 | 全 | | |

(4) 本時の評価規準

| | |
|-------------|---|
| 具体的評価規準 (B) | 情報を活用することによって観光業が発展したことで、国民生活の利便性の向上について記述している。 |
| A と判断する姿 | 観光業における情報活用の現状と発展、国民生活の利便性の向上について関連させながら自分の言葉で記述している。 |
| C への手立て | 「情報の活用の仕方」に着目させ、「観光業」「観光客」などの視点から考えさせる。 |

(5) 板書計画



第6学年 社会科学学習指導案

授業者 仙台市立宮城野小学校

教諭 佐藤 真至

1 大単元名 日本の歴史 「歴史を学ぶ意味を考えよう」

2 大単元の目標

世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解できるようにする。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現できるようにする。

3 大単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、我が国の歴史上の主な事象を理解している。 調べたことを年表や白地図、文などにまとめ、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解している。 | 世の中の様子、人物の働きや文化遺産に着目して問いを見出し、我が国の歴史上の主な事象について考え、表現している。 調べた歴史上の主な事象を関連付けたり、総合したりして、世の中の様子や国家・社会の変化について考えたり、国家及び社会の発展について考えたりして、歴史を学ぶ意味について表現している。 | 我が国の歴史上の主な事象について、予想や学習計画を立てたり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 学習したことを基に、世の中の様子や国家・社会の変化について考えたり、国家及び社会の発展について考えたりして、歴史を学ぶ意味について考えようとしている。 |

4 大単元について

○本単元は、新学習指導要領第6学年の目標(1)(2)(3)、内容(2)イ(ア)を受けて設定した。本学習は、「日本の歴史」という大単元の中に位置づけられている。つまり、長い歴史学習を一つの単元として捉え、他の小単元と同様に学習を展開している。そして、「歴史を学ぶ意味について考えよう」という学習のもと、歴史学習の全体を通して、歴史を学ぶ目的や大切さについて考えたり、国家及び社会の発展を考えようとしたりする。

○本学級は、男子14名、女子14名、計28名の構成である。アンケート調査では、社会科への関心は非常に高く、93%が社会科の学習が「とても好き」または「好き」と回答している。その根底にあるのが歴史学習であり、様々な歴史人物や事象を知ることの楽しさを味わいながら取り組んでいる。

| | | | |
|------------------------------|-----|----------------------------|-----|
| 将来役に立つから・大人になって恥ずかしい思いをしないため | 12名 | 過去の成功を参考にして、さらに成功していくため | 各1名 |
| 昔の出来事や文化、偉人や人の暮らし等を学ぶため | 12名 | 昔の文化と現在の文化を比べて、よりよい国をつくるため | |
| 昔のことや人々の苦勞を知ってもらいたいから | 4名 | 昔の人々のおかげで今がある、ということ学ぶため | |
| 文化を残し、次の世代や後生に伝えるため | 3名 | 戦争を起こさないようにするため・世界を平和にするため | |
| 昔と今を比べてどのように違うのか学ぶため | 3名 | 自分の社会の視点をもつため | |

上記の通り、児童は自分なりに歴史を学ぶ意味を考えていることが分かった。しかし、歴史を始めたばかりであるため、歴史についての理解は深まっておらず、その回答に対する根拠は弱いと思われる。本単元を通して、根拠を基にその考えの理由をしっかりと述べられる児童を育てていく。

○授業者が考える歴史を学ぶ意味とは、「世界が広がること・世界を広げること」である。今の私たちが生活できるのは、我が国の歴史や先人達の働きがあったからである。その工夫や努力を知り、新たな見方・考え方を生かし、社会の担い手として歩みを進めることで、新たな歴史がつくられる。

日々の学習の中で、児童は、歴史と自分や過去と現代など「自分(今)とつなげて考える」ことを意識して取り組んできた。より具体的につながりを示し、歴史を自分事として捉えさせるためである。その結果、多くの児童の歴史に対する見方や考え方が変わった。また、社会科に限らずどの学習においても学び合いを意識させ、ペアやグループ、全体等、集団における自分の考えの表現技術を身に付けてきた。その結果、自分の考えを述べることに對する抵抗感が減り、多種多様な意見交流ができるようになった。

歴史を学ぶ意味とは何なのか…。答えは様々であり、一つに絞ることはできない。しかしながら、6年生の立場で、歴史を自分事として捉えたり歴史の面白さや日本の素晴らしさを味わったりして、交流を深めながら考えを表現できるようにしていきたい。そしてそれらの考えを認め合っていくように指導を重ねていきたい。

5 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた小単元構成と視点との関わり

単元名「日本の歴史」

目標 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解できるようにする。また、歴史を学ぶ意味を考え、表現できるようにする。

主体的・対話的で深い学び

| | 視点1【問いの構成】 | 視点2【学び合い】 | 視点3【★振り返り】 |
|-----|---|--|------------------------------|
| つかむ | 「問題を発見する」ための問い ○巻き尺から歴史を見つめよう。 ○学習問題を作り、計画を立てよう。 | | ★学習前の歴史に対する自分のイメージは？ |
| | 学習問題 0.12mmの中にはどのような歴史が詰まっているのだろうか。 | | |
| 調べる | 「調べて、知る」ための問い ○どのような人が出てきてどのような出来事があったか、それぞれの時代ごとに調べよう。 ①米づくりが始まると、人々のくらしや世の中は、どのように変わっていったのだろうか。 ②聖徳太子が目指した天皇中心の国づくりは、誰がどのように受け継いでいったのだろうか。 ③貴族が栄えていた頃は、どのような文化が生まれたのだろうか。 ④武士の登場によって、世の中はどのように変わり、武士はどのような政治を行っていったのだろうか。 ⑤室町文化は、どのようなものだったのだろうか。 ⑥誰が、どのように、天下統一をしたのだろうか。 ⑦徳川幕府は、どのような政治を行い、世の中を支配していったのだろうか。 ⑧江戸には、どのような文化や学問が生まれたのだろうか。 ⑨明治維新では、どのような人がどのような思いや願いをもって、社会を変えていったのだろうか。 ⑩日本の立場は、世界の中でどのように変わっていったのだろうか。また、国民生活は、どのように変わっていったのだろうか。 ⑪戦争は、日本や外国にどのような影響を与えたのだろうか。 ⑫戦後の日本は、どのように変わっていったのだろうか。 | 学集めた情報をグループや全体で共有したり、学習問題について考え、予想を伝え合ったりする。 | |
| | 「考えて、分かる」ための問い ○これまでの歴史を振り返ろう。 ・これらの人物や出来事に共通していることは何だろうか。 ○共通点から見えてくることは何だろうか。 | 学調べたことを基にグループや全体で話し合う。 | ★0.12mmの中にはどのような歴史が詰まっていたのか？ |
| | 「社会につながる」問い 歴史を学ぶ意味について考えよう。(本時) | 学問いに対する考えを深めたりよりよい社会のあり方を考えたりする話し合い | ★歴史を学ぶ意味とは？ |

大単元の終末段階で目指す子供の姿

歴史を学ぶ意味とは、「世界が広がること、世界を広げること」であると私は考える。当たり前前の日常の裏には様々な歴史があり、成功だけでなくたくさんの困難や苦労があった。しかしどの人物も日本や世の中をよりよいものにしていきたいという思いを強く持ち、最後まであきらめず、そして、日本や世の中を変えていった。昔の人々の思いや工夫・努力等のおかげで今の暮らしがあるのだと思うようになり、私は歴史に対する世界が広がった。これからの歴史をつくっていくのは、私たちである。昔の人々の思いを受け継ぎ、世界を広げていかなければならない。私は、あきらめない気持ちを持ち続け、これからの社会を歩んでいきたいと思った。

6 大単元の指導計画（70時間扱い）

（子どもを見取る評価の場→☆，子どもの自己評価の場→★）

| 段階 | 時間 | 学習課題 ○学習活動 ・子どもの反応 | ※留意点 □評価 | 資料 |
|---------------|-------------------------|---|--|---------------------------|
| つかむ (四月実施) | 1 | <p>巻き尺から歴史を見つめ，学習問題をつくろう。</p> <p>○巻き尺をもとに，地球の誕生から日本の歴史の誕生までの長さを知る。</p> <p>地球の誕生…今から46億年前→46m 恐竜の誕生…今から2億5千万年前→2.5m 人類の誕生…今から500万年前→5cm 日本の歴史の誕生…今から1万2千年前→0.12mm</p> <p>・日本の歴史は，地球の誕生から見るととても短い。</p> <p>○歴史年表を見て，0.12mmの中にこれからの歴史学習が詰まっていることを知る。</p> <p>・0.12mmの中にたくさんの歴史がある。</p> <p>・地球から見たら短いけど，今の生活から見たら歴史はとても長い。</p> <p>○学習問題をつくり，調べる計画を立てる。</p> <p>・0.12mmの中には，どのような歴史が詰まっているのかな。</p> <p>・それぞれの時代にどのような人が出てきて，どのような出来事があったのか調べたい。</p> | <p>※教室で50m巻き尺を伸ばし，その長さを体感させる。</p> <p>※1億年を1mに換算し，日本の歴史の短さに気が付くようにする。</p> <p>※日本歴史年表を広げ，歴史の長さやその量の多さを体感させる。</p> <p>※0.12mmの中にたくさんの歴史が詰まっていることを押さえる。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 我が国の歴史上の主な事象について，予想や学習計画を立てたり見直したりして，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。 【発言・観察・ノート】☆</p> | 50m 巻き尺 日本 歴史年表 |
| 調べる | 2 〜 68 (全67時間) | <p style="text-align: center;">0.12mmの中にはどのような歴史が詰まっているのだろうか。</p> <p>どのような人が出てきてどのような出来事があったのか，それぞれの時代ごとに調べよう。</p> <p>①縄文のむらから古墳のくにへ【全7時間】 米づくりが始まると，人々のくらしや世の中は，どのように変わっていったのだろうか。</p> <p>②天皇中心の国づくり【全7時間】 聖徳太子が目指した天皇中心の国づくりは，誰がどのように受け継いでいったのだろうか。</p> <p>③貴族のくらし【全3時間】 貴族が栄えていた頃は，どのような文化が生まれたのだろうか。</p> <p>④武士の世の中へ【全5時間】 武士の登場によって，世の中はどのように変わり，武士はどのような政治を行っていったのだろうか。</p> <p>⑤今に伝わる室町文化【全3時間】 室町文化は，どのようなものだったのだろうか。</p> <p>⑥戦国の世から天下統一へ【全6時間】 誰が，どのように，天下統一をしたのだろうか。</p> <p>⑦江戸幕府と政治の安定【全5時間】 徳川幕府は，どのような政治を行い，世の中を支配していったのだろうか。</p> <p>⑧町人の文化と新しい学問【全5時間】 江戸には，どのような文化や学問が生まれたのだろうか。</p> <p>⑨明治の国づくりを進めた人々【全7時間】 明治維新では，どのような人がどのような思いや願いをもって，社会を変えていったのだろうか。</p> <p>⑩世界に歩み出した日本【全6時間】 日本の立場は，世界の中でどのように変わっていったのだろうか。また，国民生活は，どのように変わっていったのだろうか。</p> | | |

| | | | |
|------|-------------------------|---|---|
| 調べる | 2 〜 68 (全67時間) | <p>①長く続いた戦争と人々の暮らし【全7時間】 戦争は、日本や外国にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>②新しい日本、平和な日本へ【全6時間】 戦後の日本は、どのように変わっていったのだろうか。</p> | <p>知識及び技能 調べたことを年表や白地図、文などにまとめ、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解している。 【発言・観察・ノート】☆</p> |
| まとめる | 69 | <p>これまでの歴史を振り返ろう。</p> <p>○歴史人物・出来事まとめ表を基に、関連付けたり総合したりして、共通点に気付く。 ・医学・・・【杉田玄白・野口英世】 ・文化財・・・【法隆寺・東大寺大仏・金閣】 ・政治・・・【聖徳太子・伊藤博文】 ・貿易・・・【平清盛・豊臣秀吉・徳川家康】 ・学問・・・【伊能忠敬・福沢諭吉】 ・幕府・・・【源頼朝・徳川家康】</p> <p>歴史人物に共通する思いや願いは何だろうか。</p> <p>○自分の考えをノートにまとめる。</p> | <p>思考・判断・表現 世の中の様子、人物の働きや文化遺産に着目して問いを見だし、我が国の歴史上の主な事象について考え、表現している。 【発言・観察・ノート】☆</p> <p>歴史人物・出来事まとめ表（体育館など、床に並べて全体が見えるようにする。）</p> |
| いかす | 70 (本時) | <p>○自分の考えを発表する。 ・いつの時代も人々は日本や世の中をよりよいものにしようと努力していた。 ・一人一人が日本を変えたいという強い思いを持っていた。 ・新しい発明や改革を行い、日本を発展させた。 ・昔の人々の工夫や努力のおかげで今の日本があると思った。</p> <p style="text-align: center;">歴史を学ぶ意味について考えよう</p> <p>○自分の考えをノートにまとめ、交流し合う。 ・私は、「世界を広げる」ためだと思う。当たり前の日常の裏には様々な歴史があり、成功だけでなくたくさんの困難や苦労があった。しかしどの人物も日本や世の中をよりよいものにしていきたいという思いを強く持ち、最後まであきらめず、そして、日本や世の中を変えていった。昔の人々の思いや工夫・努力等のおかげで今の暮らしがあるのだと思うようになり、私は歴史に対する世界が広がった。 ・僕は、「よりよい世の中を創るため」だと思う。聖徳太子や聖武天皇など、平和な世の中を目指した人々のおかげで今があるということ学び、自分たちがその思いを受け継いで未来を創っていかなければならないと思った。 ・私は、「歴史の面白さを知るため」だと思う。様々な人物や出来事、文化財が出てきたり、その背景を知ったりして、歴史がとても面白かった。改めて、そのような歴史がある日本のすばらしさや良さを知ることができた。</p> | <p>歴史人物・出来事まとめ表（教室側面掲示）</p> <p>歴史年表</p> <p>思考・判断・表現 調べた歴史上の主な事象を関連付けたり総合したりして、世の中の様子や国家・社会の変化について考えたり、国家及び社会の発展について考えたりして、歴史を学ぶ意味について表現している。 【発言・観察・ノート】☆☆</p> |

7 本時の指導（70/70）

（1）本時のポイント

本時では、＜視点1＞に関連し、これまで学習してきたことを考えの根拠とし、「社会につながる」問いを設定する。特に、歴史を自分事として捉え、主体的に意見を交流し合えるようにする。また＜視点2＞に関連し、グループや全体での活動を通して友達と考えを比べ合い、自分の考えを深め広げる「学び合い」を重視する。そして、問いに対する考えを深めたり、よりよい社会のあり方を考えたりする。

（2）ねらい

歴史に対する興味・関心を持ち、歴史を学ぶ意味について考えたことを表現することができる。

（3）学習過程

（子どもを見取る評価の場→☆、子どもの自己評価の場→★）

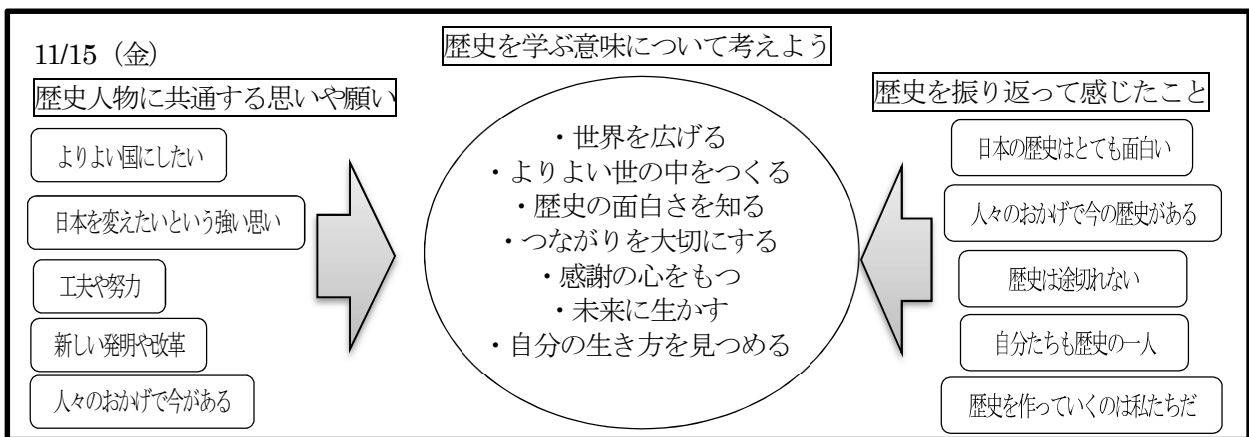
| 時間 | 学習活動 | 学習形態 | ○発問 ●指示 ・児童の反応 | ※留意点 資料 □評価 |
|------------------------------|--|---------|---|---|
| 15分 | ○共通点から見えてくることを発表する。 (前時の続き) ○歴史を振り返って感じたことを発表する。 | 全体 | ○共通点から見えてくることは何でしょうか。 ・いつの時代も人々は日本や世の中をよりよいものにしようと努力していた。 ・一人一人が強い思いを持っていた。 ・昔の人々の工夫や努力のおかげで今の日本があると思った。 ・新しい発明や改革を行い、日本を発展させた。 ○あなたは、歴史を振り返って、どのようなことを感じましたか。 ・日本の歴史はとても面白かった。 ・途切れることがない。それは歴史をつくった人々のおかげだ。 ・自分たちも歴史の中の一人だった。 ・もしも歴史を学ばなかったら、視野のせまい人間だったのかもしれない。 ・この0.12mmはこれからもっと伸びていく。その歴史を作っていくのは私たちだ。 | ※前時まで発問を提示し、それに対する自分の考えをまとめさせる。また、前時に学習したことを板書しておく。 ※歴史人物・出来事まとめ表を掲示しておき、確認しやすくさせる。 ※歴史を8か月学んだからこそ、共通点が見えたこと、それが歴史年表に詰まっていること、さらには長い地球の歴史から見たらたったの0.12mmであることを押さえ、歴史を学ぶ意味につなげていく。 ※過去だけではなく、現在や未来の視点、自分たちが歴史をつくるという視点等が持てるように発問する。 |
| 歴史を学ぶ意味について考えよう 〈視点1〉 | | | | |
| 12分 | ○歴史を学ぶ意味について、自分の考えをノートに書く。 | 個 | ○なぜ歴史を学ぶのでしょうか。 | ※歴史的な事象を根拠に、自分の考えとその理由を書くように促す。 ※考えが及ばない児童は、歴史人物・出来事まとめ表や歴史年表、これまで学習したノート等を見て考えるように支援する。 |
| 15分 | ○歴史を学ぶ意味について、自分の考えを発表する。 グループ 5分 全体 10分 | グループ・全体 | ●考えたことを発表し合ひましょう。 ・私は、「世界を広げる」ためだと思う。当たり前の日常の裏には様々な歴史があり、成功だけでなくたくさんの困難や苦勞があった。しかしどの人物も日本や世の中をよりよいものにしていきたいという思いを強く持ち、最後まであきらめず、そして、日本や世の中を変えていった。昔の人々の思いや工夫・努力等のおかげで今の暮らしがあるのだと思うようになり、私は歴史に対する世界が広がった。 | ※はじめにグループで意見を交流し、友達の考えの共通点や相違点等に気付かせる。また、友達の考えに対して、感想を述べたり自分の考えをつなげたりして、考えを深め合う。その際、相互指名をさせ、一人一人の考えを出させ、思考を広げていく。教師は板書をしたり、児童の実態に応じて意図的に指名をしたりする。 |

| | | | | |
|----|-----------|---------|--|--|
| | | グループ・全体 | <ul style="list-style-type: none"> ・僕は、「よりよい世の中を創るため」だと思ふ。聖徳太子や聖武天皇など、平和な世の中を目指した人々のおかげで今があるということ学び、自分たちがその思いを受け継いで未来を創っていかねばならないと思つた。 ・私は、「歴史の面白さを知るため」だと思ふ。様々な人物や出来事、文化財が出てきたり、その背景を知ったりして、歴史がとても面白かつた。改めて、そのような歴史がある日本のすばらしさや良さを知ることができた。 | <p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p> <p>調べた歴史上の主な事象を関連付けたり、総合したりして、世の中の様子や国家・社会の変化について考えたり、国家及び社会の発展について考えたりして、歴史を学ぶ意味について表現している。</p> <p style="text-align: center;">【発言・観察・ノート】 ☆★</p> |
| 3分 | ○本時を振り返る。 | 全体 | ●今日の授業を振り返りましょう。 | ※本時を振り返り、今後の歴史学習への見通しを持たせる。 |

(4) 本時の評価規準

| | |
|-------------|--------------------------------------|
| 具体的評価規準 (B) | 歴史を学ぶ意味を考え、表現している。 |
| A と判断する姿 | 歴史的な事象を根拠にしなが、歴史を学ぶ意味を考え、表現している。 |
| C への手立て | 以前の自分の考えを示したり資料等を示したりして、比較しながら考えさせる。 |

(5) 板書計画



第6学年 社会科学学習指導案

授業者 仙台市立長命ヶ丘小学校
教諭 細貝 和子

1 小単元名 新しい日本 平和な日本

2 小単元の目標

世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産に着目して、写真や地図、年表などの資料で調べ、日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などを捉え、主体的に問題解決し、我が国の政治や国民生活が大きく変わってきたことや、我が国が国際社会で果たしてきた役割を考え、表現することを通して、戦後我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できるようにする。

3 小単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、写真や地図、年表などの資料で調べ、日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などを理解している。 調べたことを年表や文などにまとめ、戦後我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。 | 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見いだし、わが国の歴史上の主な事象について考え、表現している。 日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などの事象を関連付けたり、総合したりして、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや、我が国が国際社会に果たしてきた役割について考えたり、学習したことを基に、現在および将来の我が国の発展や世界の国々とのかかわりを適切に表現している。 | 戦後の我が国の復興の様子や今日の社会の様子について、予想や学習計画を立て、学習問題の解決に向けて主体的に追究し、解決しようとしている。 我が国のよりよい社会について考え、世界の国々の人々と共に生きていくことを大切にしようとしている。 |

4 小単元について

- 本小単元は、新学習指導要領第6学年の目標(1)(2)(3)、内容(2)のア(サ)及びイを受けて設定した。日本国憲法の制定、オリンピックの開催などの歴史的事象を主に取り上げて調べ、戦後我が国が民主国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会で重要な役割を果たしてきたことが分かることをねらいとしている。

戦後、日本は、民主的な国家として再出発し、日本国憲法の制定、国際社会への復帰、高度経済成長など、国民の不断の努力によって復興の道を歩んできた。その結果、国民生活は国情し、国際社会の中でも重要な役割を果たすことができるようになってきた。1964年には、アジアで初のオリンピックを開催するまでになった。しかし、現代の日本は、近隣諸国との関係や環境問題、自然災害など解決していかなければならない問題も多く抱えている。

また、本小単元は歴史学習の最後の小単元でもある。学習内容を振り返り、平和で民主的な国家の一員として世界の人々と共に生きていくことの大切さについて考えることができる。さらに、地域社会の一員としても、地域の今後の在り方や自分たちにできることについて考えることができる単元である。

- 昨年度の社会科に対するアンケートでは、「社会科は覚えることが多い」という理由で、「嫌い」または「やや嫌い」と答えた児童も少なくない。今年度、初めに行ったアンケートでは、最初の単元で日本国憲法を学んだ際には、自分たちの実生活に結び付いていることへ興味を示す児童も多かった。社会科が、自分の生活に関係していると気付くことで、興味を持って学習に取り組める児童が増えてきた。

そこで、今回は歴史学習の最後の単元として歴史と自分たちの生活がきちんと結び付いていることを実感させ、学ぶ意欲を高めながら歴史を学ぶ意味を考えられるような指導の工夫を行っていきたい。

- 本小単元の指導にあたっては、自分たちの生活と過去の出来事との関わりを捉えやすくするために、仙台の復興の様子も取り上げる。「つかむ」段階で仙台市の3枚の写真も利用し、戦後の復興に関して興味関心を持たせる。また、本校は、移行期間を利用し、社会の学習を政治学習からスタートしている。日本国憲法や政治について学習をしていることを生かして、歴史学習を展開させたい。特に、日本国憲法の制定によって国民生活は大きく変わっていくことを、三大原則に関連付けながら学習を進めていく。

5 小単元構造図（視点との関わり）

小単元名「新しい日本 平和な日本」
 目標 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産に着目し、写真や地図、年表などの資料で調べ、日本国憲法の制定やオリンピック・パラリンピックの開催などを捉え、主体的に問題解決し、我が国の政治や国民生活が大きく変わってきたことや、我が国が国際社会に果たしてきた役割を考え、表現することを通して、戦後我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解できるようにする。

主体的・対話的で深い学び

| | 視点1【問いの構成】 | 視点2【学び合い】 | 視点3【★振り返り】 |
|------|--|---|-----------------------------|
| つかむ | 「問題を発見する」ための問い ①3枚の写真の違いはなんだろう。 | 学戦後の変化に着目させ、戦後の復興に関心を持たせるための話合い | ★日本の変化を見て、感じたことは？ |
| | 学習問題 戦争が終わって日本はどのように変化していったのだろうか。 | | |
| 調べる | 予想1→②へ 「国内の改革」 | 予想2→③へ 「外国とのつながり」 | 予想3→④へ 「大きなイベント」 |
| | 「調べて、知る」ための問い ②日本は戦後の改革によってどのような国を目指したのだろうか。(本時) ③日本が外国との関係を築くためには、どのようなことがあったのだろうか。 ④オリンピックの開催により、人々の生活はどのように変化したのだろうか。 ⑤世界の中で日本は今、どのような状況にあるのだろうか。 | 学予想をし、学習計画を立て、見通しを持つための話合い。 | |
| | 教師による意図的な問い | | |
| まとめる | 「考えて、分かる」ための問い ⑥戦争が終わって日本はどのように変化していったのだろうか。 (戦争が終わって日本の変化をどんな4枚のスライドで表したらよいか) | 学調べてきたことを関係付けたり、総合したりして戦後の変化を考えさせるための話合い。 | ★予想と比べて、気付いたことは？ |
| いかす | 「社会につながる」問い ⑦これから日本は、どのような国を目指していったらよいのだろうか。 | 学これからの日本の発展や世界の国々とのかかわりについて考える話合い。 | ★これからの日本について話し合ったことで考えたことは？ |

小単元の終末段階で目指す子供の姿

「わたしは、この学習で戦後の日本は、日本国憲法を基に新たな民主国家として再出発し、国民の努力により産業が発展し国民生活が豊かになったことや、それにより世界の中で大きな役割を持つ国になったことが分かった。現在の日本の平和や発展は戦後の改革や産業の発展があったからだと思う。しかし、一方で環境問題や少子高齢化、領土問題など国内や国外の問題も多く残されている。今後の日本を考えたことで、これらの課題を解決しながら、世界の人々と協力し、発展していくことが大切だと思った。わたしたち一人一人が世の中のことに興味を持ち、平和で明るい未来を築いていきたい。」

6 小単元の指導計画（7時間扱い）

（子供を見取る評価の場→☆，子供の自己評価の場→★）

| 段階 | 時間 | 学習課題 ○学習活動・子供の反応 | ※留意点・評価 | 資料 |
|-----|-----------|--|---|---|
| つかむ | 1 | <p>3枚の写真を見比べて気付いたことを話し合い、学習問題を作ろう。</p> <p>○ 仙台市の3枚の写真，新宿の3枚の写真を見て気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終戦直後は焼け野原になっている。 ・高度成長期にはずいぶん建物も増えている。 ・並木のケヤキの木が細い。 ・今は，戦後の様子が想像できないくらい発展している。 ・なんでこんなに変わったのかな。 | <p>※建物，道の様子など視点を絞って変化を捉えさせる。</p> <p>※変化には契機があることから，その理由を想起させる。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 戦争が終わったとの社会の変化を意欲的に考えようとしている。【発言・観察・ノート】☆</p> | <p>定禅寺通りの3枚の写真 (戦後・復興後・現在) 新宿の3枚の写真</p> |
| | | <p style="text-align: center;">戦争が終わって日本はどのように変化していったのだろうか</p> <p>○ 学習問題に対する予想をし，学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改革があったのではないかな。 ・外国が助けてくれたのではないかな。 ・大きなイベントがあったのではないかな。 ・みんなが頑張って復興させたのではないかな。 | | |
| 調べる | 2 (本時) | <p>日本は，戦後の改革によってどのような国を目指したのだろうか。</p> <p>○ 戦後改革について調べ，日本国憲法とのつながりを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な改革が行われているな。 ・軍隊解散は平和主義とつながっているな。 ・どれも，日本国憲法の3大原則に従っている。 <p>○ 現在の生活と結び付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この前の選挙で女性が当選したよ。 ・日本国憲法はここからずっと使われているのだ。 ・仙台でもたくさん学校ができた。 <p>日本は，戦後の改革によって平和で民主的な国を目指し，その改革は今の私たちの生活にもつながっている。</p> | <p>※日本国憲法や政治の学習を想起できるように掲示物を工夫する。</p> <p>※中央で行われた改革が地方でも実践されたことが実感できる資料を用意する。</p> <p>知識・技能 日本が平和で民主的な国家として再出発したことや，戦後の改革が現在の自分たちの生活と結び付いていることを理解している。 【発言・ノート】☆</p> | <p>仙台市内の中学校の写真</p> |
| | | <p>日本が，外国との関係を築くためには，どのようなことがあったのだろうか。</p> <p>○ サンフランシスコ平和条約締結，国際連合への加盟について調べる。</p> <p>○ それらを年表にまとめる。</p> <p>日本は，サンフランシスコ平和条約を結び，国際連合へ加盟した。</p> | <p>知識・技能 戦後我が国が民主的な国家として出発し，国民の不断の努力によって国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。【発言・ノート】☆</p> | <p>教科書巻末年表資料集</p> |

| | | | | |
|------|---|--|---|--|
| | 4 | <p>オリンピックの開催により、人々の生活はどのように変化したのだろうか。</p> <p>○ 東京オリンピック・パラリンピックの開催とそれに関連する出来事を調べ、当時の人々思いについて考える。</p> <p>・アジアで初めてのオリンピック。</p> <p>・新幹線や高速道路など交通が整備されて便利。</p> <p>○ 東京オリンピック・パラリンピック開催前後の国民生活の変化について調べる。</p> <p>東京オリンピックの開催をきっかけに産業はさらに発展した。その後も日本は、経済の高度成長を続けた。</p> | <p>思考力・判断力・表現力等</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックの開催などの事象を関連付けたり、総合したりして、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや、我が国が国際社会に果たしてきた役割について考え、表現する。【発言・ノート】☆</p> | <p>電化製品の普及の様子のグラフ</p> <p>東京オリンピックの写真</p> |
| 調べる | 5 | <p>世界の中で日本は今、どのような状況にあるのだろうか。</p> <p>○ 現在の日本が抱える問題や果たすべき役割について調べ、考えたことを話し合う。</p> <p>・5年生の時に領土問題を学習したよ。</p> <p>・新聞で沖縄の米軍基地の記事を読んだよ。</p> <p>・東日本大震災からの復興はどこまで進んだのだろうか。</p> <p>日本は世界の中でも平和で豊かな国の一つになったが、東日本大震災からの復興をはじめ、人権、領土などの問題が残されている。</p> | <p>※身近な問題やニュース、これまで学んできたことなどを発表させ、これからの日本について考えさせる。</p> <p>思考力・判断力・表現力等</p> <p>現在および将来の我が国の発展や国際社会における役割を考え、表現する。【発言・話し合い・ノート】☆</p> | 新聞記事 |
| まとめる | 6 | <p>戦争が終わって日本はどのようにして変化していったのだろうか。</p> <p>○ 学習問題について調べたことの中から自分が伝えたいことの資料を選ぶ。</p> <p>○ 日本の変化を、タブレットを用いて4枚のスライドに表す。</p> <p>戦後、日本はさまざまな戦後改革を行い、平和で民主的な国家として出発し、その後も国民の努力によって生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきた。</p> <p>○ 自分たちが作った資料を友達に紹介する。</p> | <p>※なぜその資料を選んだのかの説明ができるよう指導する。</p> <p>思考力・判断力・表現力等</p> <p>それぞれの事象を関連付けたり、総合したりして、我が国の政治や国民生活が大きく変わったことや、我が国が国際社会に果たしてきた役割について考え、表現する。【4枚の資料・話し合い】☆☆</p> | 今まで使用してきた資料 |
| いかす | 7 | <p>これから日本は、どのような国を目指していったらよいだろうか。</p> <p>○ これまでの学習を振り返る。</p> <p>○ これからどのような社会にしていきたいか、そのためにどのようなことが大切かについてグループで意見を出し合う。</p> <p>・日本国憲法を大切に、平和で民主的な国家を目指していきたい。</p> <p>・様々な課題はあるけれど、世界の人と対立せず、協力していきたい。</p> <p>○ 自分の考えをまとめ小単元の学習を振り返る。</p> | <p>※掲示物や4コマを参考にさせる。</p> <p>思考力・判断力・表現力等</p> <p>我が国のよりよい社会について考え、世界の国々の人々と共に生きていくことを大切にしようとする態度【ノート・話し合い】☆☆</p> | |

7 本時の指導（2/7）

（1）本時のポイント

本時では、歴史学習の前に日本国憲法の学習を行っていることを最大限に生かせるようにしたい。そのため、〈視点1〉「小単元の目標に迫る問いの構成」に関連し、「戦後の改革が日本国憲法の三大原則とどのように結び付いているか。」「これらの改革をすることでどんな国を目指したのか」と問うことで、戦後の改革と日本国憲法との関わりを捉えさせるようにする。

（2）ねらい

戦後の改革を進めたことについて調べ、日本が平和で民主的な国家として再出発したことや、戦後の改革が現在の自分たちの生活と結び付いていることを理解することができる。

（3）学習過程

（子供を見取る評価の場→☆，子供の自己評価の場→★）

| 時間 | 学習活動 | 学習形態 | ○発問 ●指示 ・子供の反応 | ※留意点 資料 評価 |
|---------------------------------------|--|-----------------------|---|--|
| 5分 | ○日本国憲法と大日本帝国憲法を比べる。 ○本時の課題を把握する。 | 全 | ●何の写真でしょうか。 ○大日本帝国憲法との違いは何かな。 ・平和主義 国民主権 ・基本的人権の尊重 ○同時期に様々な改革が行われましたが、どのようなものだったと思いますか。 ・軍隊から自衛隊になった。 ・義務教育が行われた。 | 日本国憲法発布の日の写真 ※前小単元の大日本帝国憲法との違いを確認させる。 ※同時期に様々な改革が行われていたことを伝え、本時の学習課題を設定していく。 ※黒板の絵や資料をヒントに予想させる。 |
| 日本は、戦後の改革によってどのような国を目指したのだろうか。 | | | | |
| 35分 | ○予想する。 ○戦後の改革について調べ、日本国憲法の三大原則とのつながりを考える。 | 個 グル ↓ 全 | ・平和な国 ・いろいろなことを話し合っ て決める国 ○戦後の改革は日本国憲法の三大原則とどうつながっているかな。〈視点1〉 ●グループごとにホワイトボードにつな がりを表しましょう。 ・女性の参政権は基本的人権の尊重だよ。 ・男女も平等だからね。 ・義務教育は、基本的人権の尊重と関係しているよ。 ・教育を受ける権利があるから。 ・軍隊の解散は、平和主義とつながっているね。 ○これらの改革をすることでどんな国を目指したのかな。 ●グループで話し合っ て学習問題の答えを考えま しょう。 | ※タブレットの資料から、戦後の改革について調べさせる。 1 女性の参政権 2 農地改革 3 6・3制の義務教育 4 学校給食の始まり 5 軍隊の解散 6 言論、思想の自由 ※選んだ理由の根拠を政治の学習を基に考えさせる。 ※改革をすることで、どのような国を目指したのかを考えさせることで、平和で民主的な国家という言葉に着目できるようにする。 |

| | | | |
|--|------------------------------------|--|--|
| | <p>○現在の生活と結び付ける。</p> <p>○まとめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・平和な日本 ・現在の日本 ・民主的な国 <p>○今の生活にもつながっていることはあるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一中も6・3・3制によって建てられていたんだ。 ・今も日本には、軍隊はないよね。 ・この前の参議委員選挙では、女性が当選していたよ。 | <p>仙台第一中学校、七北田中学校創立当時の写真</p> |
| <p>日本は、戦後の改革によって平和で民主的な国を目指し、その改革は今の自分たちの生活にもつながっている。</p> | | | |
| 5分 | ○本時の振り返りをする。 | <p>全</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今日の学習の振り返りを書きましょう。 ・戦後の改革が今のわたしたちの生活に結び付いていると思った。 ・制度が整って外国との関係はよくなったのかな。 | <p>※本校の振り返りの視点①学んだこと ②学び方を利用し、振り返らせる。</p> <p>知識・技能</p> <p>日本が平和で民主的な国家として再出発したことや、戦後の改革が現在の自分たちの生活と結び付いていることを理解している。【発言・ノート】☆</p> |

(4) 本時の評価規準

| | |
|-------------|--|
| 具体的評価規準 (B) | 戦後の改革を進めたことについて調べ、日本が平和で民主的な国家として再出発したことや、戦後の改革が現在の自分たちの生活と結び付いていることを理解している。 |
| A と判断する姿 | 戦後の改革を進めたことについて調べ、日本が平和で民主的な国家として再出発したことや、戦後の改革が現在の自分たちの生活と具体的に結び付いていることを理解している。 |
| C への手立て | 既習事項を振り返りさせ、日本国憲法の三大原則を確認させる。 |

(5) 板書計画

